令和3年度

事業報告

(令和3年4月1日~令和4年3月31日)



法人単位資金収支計算書 (自)令和 3年 4月 1日 (至)令和 4年 3月31日

(単位:円)

			1	一	<u>似:円)</u>
	勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
	会費収入	5,250,000	3,462,300	1,787,700	
	寄附金収入	3,345,000	2,948,531	396,469	
	経常経費補助金収入	58,763,000	58,273,293	489,707	
	受託金収入	113,267,000	112,124,659	1,142,341	
巾		600,000	17,000	583,000	
I -	事業収入	1,878,000	1,854,929	23,071	
業	基金受取利息配当金収入	92,000	15,515	76,485	
活	受取利息配当金収入	7,000	662	6,338	
動	その他の収入	222,000	287,318	△ 65,318	
事業活動による収支/	事業活動収入計(1)	183,424,000	178,984,207	4,439,793	
よー	人件費支出	116,352,000	107,387,288	8,964,712	
DII	事業費支出	55,018,000	47,225,636	7,792,364	
女	事来貢文山 事務費支出	20,026,000	16,792,498	3,233,502	
支出	.				
出	登付事業支出	600,000	30,000	570,000	
	分担金支出	306,000	262,450	43,550	
	助成金支出	3,806,000	1,527,361	2,278,639	
-	事業活動支出計(2)	196,108,000	173,225,233	22,882,767	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△ 12,684,000	5,758,974	△ 18,442,974	
施設整備等による収支					
佣	施設整備等収入計(4)				
4	固定資産取得支出	416,000	383,715	32,285	
よー					
まる出	1				
収	1				
支	施設整備等支出計(5)	416,000	383,715	32,285	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 416,000	△ 383,715	△ 32,285	
その他の	ζ.				
活	その他の活動収入計(7)	0	0	0	
の 活 動	基金積立資産支出	3,812,000	3,734,402	77,598	
に.		973,000	833,896	139,104	
よる出	その他の活動による支出	300,000	300,000	300,000	
る ^出		300,000		500,000	
よる収支	その他の活動支出計(8)	5,085,000	4,568,298	516,702	
又	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 5,085,000	△ 4,568,298	$\triangle 516,702$	
子/供	費支出(10)	4,045,000	△ 7,000,230	4,045,000	
J、小川	具 又 四/1∪/	7,040,000	_	7,040,000	
小 井	資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 22,230,000	806,961	△ 23,036,961	
二 州	具亚狄乂左傾口引(II/=(3/〒(0/〒(3/-(IU/	\triangle 22,230,000	000,301	△ 23,036,961	
H: HI	士士!/	24 145 000	24,638,521	△ 493,521	
	末支払資金残高(12) ままれ姿を残富(11)+(12)	24,145,000			
三别	末支払資金残高(11)+(12)	1,915,000	25,445,482	△ 23,530,482	

法人単位事業活動計算書 (自)令和 3年 4月 1日 (至)令和 4年 3月31日

(単位:円)

_			T-		(単位:円)
		勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	增減(A)-(B)
		会費収益	3,462,300	4,786,300	△ 1,324,000
		寄附金収益	2,948,531	2,474,888	473,643
		経常経費補助金収益	58,273,293	58,323,114	△ 49,821
	ılπ	受託金収益	112,124,659	103,598,496	8,526,163
サ	収益	事業収益	1,854,929	2,132,672	\triangle 277,743
1	ш.	基金受取利息配当金収益	15,515	86,932	△ 71 , 417
ビス		基金取崩額		18,643,000	△ 18,643,000
ろ		その他の収益	287,318	220,108	67,210
活動増減		サービス活動収益計(1)	178,966,545	190,265,510	△ 11 , 298 , 965
増		人件費	108,221,184	113,082,022	△ 4,860,838
		事業費	47,225,636	42,532,214	4,693,422
の部	费	事務費	16,792,498	15,818,297	974,201
当)	費用	分担金費用	262,450	258,700	3,750
		助成金費用	1,527,361	1,813,900	△ 286,539
		減価償却費	359,539	254,267	105,272
		サービス活動費用計(2)	174,388,668	173,759,400	629,268
		サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	4,577,877	16,506,110	△ 11,928,233
サ		受取利息配当金収益	662	671	△ 9
]	収				
ビス	収益				
ス		サービス活動外収益計(4)	662	C71	۸ ۸
活動外増減		サービス活動外収益計(4)	002	671	△ 9
外外					
増	費用				
	用				
の		サービス活動外費用計(5)			
部		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	662	671	△ 9
	l	経常増減差額(7)=(3)+(6)	4,578,539	16,506,781	△ 11,928,242
		ATTO DIAZEBACTY (C)	1,010,000	10,000,101	Z 11,020,212
	収益				
特	益				
特別増減		特別収益計(8)	0	0	0
増減		基金組入額	3,747,402	6,947,000	△ 3,199,598
例の		固定資産売却損·処分損	-,-	2	\triangle 2
部	費用				
	Щ				
		特別費用計(9)	3,747,402	6,947,002	△ 3,199,600
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 3,747,402	△ 6,947,002	3,199,600
当	_	舌動増減差額(11)=(7)+(10)	831,137	9,559,779	△ 8,728,642
€. □		期繰越活動増減差額(12)	26,343,827	16,784,048	9,559,779
繰越		期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	27,174,964	26,343,827	831,137
越活		本金取崩額(14)			
動		金取崩額計(15)			
増		の他の積立金取崩額(16)			
減	そ	の他の積立金積立額(17)			
減差額					
飲の					
部	Ļ				
\Box	次	期繰越活動増減差額(18)=(13)+(14)+(15)+(16)-(17)	27,174,964	26,343,827	831,137

法人単位貸借対照表 ^{令和 4年 3月31日現在}

	谷帝の立				存储の対		(単位:円)
	出る世区				当へ近以		
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	36,869,283	41,767,183	△ 4,897,900	流動負債	11,423,801	17,128,662	\triangle 5,704,861
現金預金	35,883,328	35,129,045	754,283	事業未払金	8,504,665	9,434,933	△ 930,268
事業未収金	383,462	5,588,186	\triangle 5,204,724	その他の未払金	177,845	155,810	22,035
未収金	529,860	990,452	\triangle 460,592	預り金	176,450	1,778,500	\triangle 1,602,050
貯蔵品	1,500		1,500	職員預り金	2,375,615	2,317,303	58,312
前払金	11,133	19,500	△ 8,367	前受金	189,226	143,002	46,224
仮払金	60,000	40,000	20,000	仮受金	0	3,299,114	\triangle 3,299,114
固定資産	225,405,211	220,799,737	4,605,474	固定負債	31,502,727	30,668,831	833,896
基本財産	1,300,000	1,300,000	0	退職給付引当金	31,502,727	30,668,831	833,896
定期預金	1,300,000	1,300,000	0	負債の部合計	42,926,528	47,797,493	\triangle 4,870,965
その他の固定資産	224,105,211	219,499,737	4,605,474		純資産の部		
建物	123,089	161,462	\triangle 38,373	基本金	1,300,000	1,300,000	0
器具及び備品	859,593	797,044	62,549	第1号基本金	1,300,000	1,300,000	0
権利	746,800	746,800	0	基金	190,873,002	187,125,600	3,747,402
退職給付引当資産	12,599,200	11,765,680	833,520	福祉基金	122,296,034	119,570,000	2,726,034
福祉基金積立資産	122,296,034	119,570,000	2,726,034	ボランティア基金	6,847,135	6,847,000	135
ボランティア基金積立資産	6,847,135	6,847,000	135	交通遺児奨学基金	3,853,057	2,853,000	1,000,057
千葉トヨコ基金積立資産	36,889,376	36,882,000	7,376	応急小口資金貸付基金	986,600	973,600	13,000
交通遺児奨学基金積立資産	3,853,057	2,853,000	1,000,057	千葉トヨコ基金	36,889,376	36,882,000	7,376
退職金積立金積立資産	18,903,527	18,903,151	376	災害対策基金	20,000,800	20,000,000	800
災害対策基金積立資産	20,000,800	20,000,000	800	国庫補助金等特別積立金			
貸付事業貸付金	986,600	973,600	13,000	その他の積立金	0	0	0
				次期繰越活動增減差額	27,174,964	26,343,827	831,137
				(うち当期活動増減差額)	831,137	9,559,779	\triangle 8,728,642
				純資産の部合計	219,347,966	214,769,427	4,578,539
資産の部合計	262,274,494	262,566,920	\triangle 292,426	負債及び純資産の部合計	262,274,494	262,566,920	\triangle 292,426

事務事業

1	小地域福祉活動の更なる推進 ・・・・・・・・ 7
2	情報発信事業の充実・・・・・・・・・12
3	相談活動の充実 ・・・・・・・・・・ 14
4	福祉学習の推進(ボランティアセンター事業)・・15
5	福祉関連団体等との連携・協力の充実・・・・・ 21
6	市民の自主的な地域福祉活動の支援・・・・・・ 26
7	地域生活支援サービスの充実・・・・・・・31
8	会員の拡大・・・・・・・・・・・・47
9	財政基盤の強化・・・・・・・・・・・・48
10	収益事業 · · · · · · · 49
11	法人運営 · · · · · · · 49
別	表

事業または事項等 単位:円

事業内容及び成果の概要

小地域福祉活動の 更なる推進

地域での具体的な取組み の拡充・課題解決の仕組 みづくり

地域福祉のコーディネート 機能の充実 地域福祉懇談会などを通じて地域のニーズを把握し、住民及び関係団体の自主的な取り組みも活用しながら、小地域単位での福祉活動を推進する。

小地域における福祉課題を解決するため、地域の民生・児童委員や福祉施設・団体等の関係機関と連携を図るなど、地域福祉のコーディネート役を担う。具体的には、地域ごとに職員を配置し、担当地域からの相談を受け付け、必要に応じて関係者による話し合いなどの機会を設けて課題解決に向けた取り組みを行う。

- ▶東部·中部·西部 小地域福祉活動 事業計画(令和2年度~令和6年度)
- ▶東部·中部·西部 小地域福祉活動 実施計画(令和4年度)

困りごとを解決する地域づくりを着実にすすめるため、中期(5年)及び単年度計画を策定。小地域福祉活動の進捗状況を把握し、進行できていない場合は問題への対策、計画の修正など、地域ニーズの変化に迅速に対応するためローリング方式による運用管理をすすめた。

○小地域福祉活動ミーティング 職員10人 令和3年度のふりかえり、令和4年度の取り組み、その他

【東部】

○自治会内自主防災会主催の要援護者避難支援訓練実施に伴い組織化された 要援護者避難支援委員会への参加(氷川台)

第1回10月22日(金)午後1時半~2時40分 参加人数7人 派遣人数1人 会場 氷川台会館

内容 災害時要援護者支援避難訓練方法の検討

要援護者支援避難訓練(当日)

11月21日(日)午前9時~正午 派遣人数1人

内容 避難場所である小山台遊園および自治会内にて訓練。新型コロナウイルス感染防止のため、会場の訓練参加者を絞り、訓練参加時間をずらして実施。安否確認訓練のほか初の試みとして一時避難所となる自治会館内をシートで区切って簡易ベッドを置く個室型の避難者収容スペースをつくる訓練や大型テントを遮蔽し個室に区切る訓練を実施。

○うえのはら活性化委員会「喫茶うえのはら」への協力(上の原)

上の原地域における人と人のつながり、にぎわいと活力を生むような仕組みづくり、住み慣れた地域で暮らし続けるためのサポート、認知症の方を地域住民で支えていく土台づくりを目的に、せらび東久留米、みどりの丘、パン工房モナモナの共同運営で喫茶を実施。運営協力は社協(平成29年度地域協働事業)。

会場 特別養護老人ホームみどりの丘 地域交流スペース、会議室 ※新型コロナウイルスの影響により活動休止中

○大門町地域の社会福祉法人と住民組織をつなぐ打ち合わせ会

※新型コロナウイルスの影響により見合わせ

【中部】

○わくわくすこやか体操(教室3回、1月から中央町地区センターで週5日実施)

※地区センター事業に再掲

参加者:平均10人~15人程

事業または事項等 単位:円 事業内容及び成果の概要 引きこもりがちな高齢者が気軽に参加できる場を設けたいとの地域住民からの申 し出により、ほぼ毎日老人福祉センターの会場で市が作成した体操のプログラム を活用し、予約しなくても気軽に集える場に出向く機会としている。 ○子どもあそび開催(南町地区センター計3回) 地域で活動するNPO(オニバスの種)からの子ども向けイベントの実施相談をき っかけに、南町地区センターで「出張駄菓子屋カーリー」として水遊びや手作り迷 路などを行った。延べ参加者:29人 【西部】 ○滝山3・4・5 丁目地域関係者会議 ※新型コロナウイルスの影響により中止 ○住みよいまち弥生 地域福祉コーディネーターとともに自主活動を側面支援。 ※詳細は、9 ページ「地域福祉コーディネーター事業」参照。 ○ゆいまぁるはちまん運営推進会議(八幡町) ※書面開催 介護保険事業の「地域密着型サービス」の運営会議に出席し、地域の情報収集を 行なった。 5月26日(水)、7月28日(水)、9月22日(水)、11月24日(水)、 1月26日(水) ○滝山地域安心つながり連絡会 UR都市機構が、平成 29 年度に滝山団地を地域医療福祉拠点化に着手して以 降、地域関係者との連携体制構築の一環として、団地自治会、日本社会事業大 学、東久留米市西部地域包括支援センター、UR、本会によって協議を重ね、平成 31年に設立された連絡会議。 9月16日(木)午前10時半~11時半 派遣人数1人 その他、新型コロナウイルスの影響によりメールでの合意形成を行なった。 ▶健康・暮らしの相談室 第 4 回 6 月 24 日(木)午後 2 時~ 派遣人数 1 人 第 5 回 10 月 28 日(木)午後 2 時~ 派遣人数 1 人 会場 滝山団地1街区集会所 相談内容 終活等(成年後見等権利擁護)に関すること ○滝山あんしんつながりの家 ダイニングカフェたきやま 8月3日(火)午前11時半~11時45分 地域の相談 対応1人 ○滝山おじいさんおばあさん食堂 ※地域協働事業として実施 9月14日(火)午後3時~3時半 地域の相談 対応2人 【市内避難所運営連絡会議】 ▶第二小学校避難所運営連絡会及び避難防災訓練 ※新型コロナウイルスの影響により社協からの参加は見合わせた 神宝小学校避難所運営連絡会及び地域防災訓練 小山小学校避難所運営連絡会及び地域防災訓練 ▶第六小学校避難所運営連絡会及び避難防災訓練 ※新型コロナウイルスの影響により活動休止中

事業または事項等 単位:円	事業内容及び成果の概要
地域福祉コーディネーター	東久留米市地域福祉計画(基本理念「新たな"つながり"づくり」) 10年計画 に基
事業	づき、平成27年度から市受託事業として西部地域(小金井街道西側の地域)に地
市受託金 6,326,011	域福祉コーディネーターを1名配置(兼務体制)。現在の福祉制度では解決できな
【前年度6,324,971円】	│ いような、一人ひとりの困りごと地域及び住民組織等の抱える課題の深刻化を防
	│ ぐため個別の困りごとの相談や困りごとの解決に向けた支え合いの地域づくりを
	進めている。
行政機関との打ち合わせ	7月30日(金)ひきこもり家族会 講話企画事前打ち合せ
	 8 月 23 日(月)福祉総務課長との話し合い・事業実施状況ヒアリング
弥生地区での活動	住みよいまち弥生 自主活動 側面支援
	自主活動をすすめるにあたり、組織的な課題として、役員間での連絡体制を確立
	すること、定期的な話し合いの場づくりに必要な考え方や具体的な進め方、地域
	防災に関する取り組みの具体化が課題としてあったため、本会の地域協働事業を
	活用し、協働により組織基盤の強化と事業推進を図った。地域福祉コーディネータ
	ーは、自主運営の基盤構築をモデル事業の一区切りとし、今後は西部地域担当職
	員が主担当として関わる。
	〔定例会·総会〕
	第1回4月18日(日) 参加人数12人
	第2回6月20日(日) 参加人数10人
	第3回8月22日(日)参加人数4人(会場2人オンライン2人)
	第4回10月17日(日) 参加人数12人
	第5回12月19日(日)参加人数11人
	第6回2月20日(日)参加人数8人
	〔地域協働事業ミーティング〕
	第1回5月27日(木)参加人数3人
	第2回7月30日(金)参加人数3人
	第3回9月29日(水)参加人数3人
	第4回11月2日(火)参加人数3人
	第5回12月2日(木)参加人数3人
	第6回1月31日(月)参加人数4人
	第7回3月28日(月)参加人数4人
	〔防災まち歩き・地図づくり〕
	11月21日(日)参加人数14人
	〔氷川台自治会講話「地域の安心・安全・つながりづくりをひろげるヒント」〕
	3月6日(日) 参加人数 16人
	〔ゆうちょ銀行 団体口座申し込み手続き同行〕
	3月8日(火)
ひがしくるめ ひきこもり家族	
会準備会	同 5月9日(日) 緊急事態宣言により中止
	同 6月13日(日) 緊急事態宣言により中止

事業または事項等 単位:円	事業内容及び成果の概要
	第4回7月11日(日)参加人数6人
	同 8月8日(日) 緊急事態宣言により中止
	同 9月12日(日) 緊急事態宣言により中止
	第5回 10月10日(日)参加人数6人
	第6回 11月14日(日)参加人数6人
	第7回 12月12日(日)参加人数10人
	第8回 1月9日(日) 参加人数6人
	同 2月13日(日) 新型コロナ感染症拡大傾向につき中止
	第9回3月6日(日)参加人数11人
	▶事前ミーティング 7人:家族1人、オニバスの種 草刈・小山、ポリフォニー 時田、
	TO・BI・RA 山永、市障害者就労支援室あおぞら 栗城、ひきこもりUX会議 林
	第1回 4月 27日(火)参加人数3人
	第2回10月5日(火)参加人数4人
	第3回11月11日(木)参加人数2人
	第4回12月7日(火)参加人数2人
	第5回1月7日(金)参加人数6人
	第6回2月1日(火)参加人数6人
	▶1月31日(月)多摩地区 地域家族会連絡会交流会 参加人数10人
関係する会議等への参加	4月13日(火)第1回生活支援コーディネーター連絡会
	6月15日(火)第1回自立支援・重度化防止に資する観点の地域ケア個別会議
	6月22日(火)第2回生活支援コーディネーター連絡会/市役所
	6月24日(木)第4回健康・暮らしの相談室(滝山地域安心つながり連絡会)
	7月15日(木)第1回地域づくりをすすめるコーディネーター連絡会および地域
	福祉所管課長·係長会議
	8月6日(金)清瀬・東久留米社会福祉士会 一時宿泊施設「ともにハウス」紹介
	8月24日(火)第2回自立支援・重度化防止に資する観点の地域ケア個別会議
	8月25日(水)第3回生活支援コーディネーター連絡会
	9月21日(火)第3回自立支援・重度化防止に資する観点の地域ケア個別会議
	10 月 13 日(水)第 1 回久留米西団地ケア会議
	10 月 14 日(木)JKK 東京 久留米西団地 社会資源等状況聞き取り
	10 月 27 日(水)第 4 回生活支援コーディネーター連絡会
	10 月 28 日(木)第 5 回健康・暮らしの相談室(滝山地域安心つながり連絡会)
	11月16日(火)第4回自立支援・重度化防止に資する観点の地域ケア個別会議
	12 月 14 日(火)第 5 回生活支援コーディネーター連絡会
	1月19日(水)第5回自立支援・重度化防止に資する観点の地域ケア個別会議
	2月9日(水)第1回自殺対策推進協議会
	3月2日(水)第1回生活支援体制整備事業 第一層協議体
	3月9日(水)第2回生活支援体制整備事業 第一層協議体
	3月15日(火)第6回自立支援・重度化防止に資する観点の地域ケア個別会議
	※途中終了

事業または事項等 単位:円	事業内容及び成果の概要
	3月16日(水)第2回久留米西団地ケア会議
	3月29日(火)第6回自立支援・重度化防止に資する観点の地域ケア個別会議
個別相談支援 39件 (前年度25件/14件増)	4月 近隣トラブル・嫌がらせ、介護用ベッドのレンタル、休職中で生活困窮、 高次脳機能障害の子の対応 5月 休職中で生活困窮、精神障がい者の話し相手、不登校家族の支援 6月 身内の私財処分、市内在住のひきこもり家族の暴力、アルコール依存のある家族への支援、生活保護受給者の生活困窮、ひきこもり当事者への支援 7月 認知症家族への支援、ひきこもり家族への支援、子の医療費負担、仕事の減少による生活困窮 8月 PCデータ消去作業、ひきこもり当事者への支援、市外で暮らす生活困窮家族への支援、近隣トラブル・除草剤 9月 希死念慮、不登校家族への支援、市内在住の認知症当事者への支援、ひきこもり当事者への支援 10月 母子家庭近隣トラブル・頻回通報、近隣トラブル・認知症当事者、家族の介護サービス拒否、ひきこもり当事者への支援 11月 生命保険請求手続き、高齢者の転倒 12月 生活困窮、夫婦間トラブル 1月 ひきこもり家族への支援、身体障がいひきこもり当事者への支援 2月 精神障がいがある家族への支援、近隣トラブル・騒音、DV・生活困窮3月 ひきこもり家族への支援3件
地域活動支援	6月23日(水)フードパントリーたまご見学説明同行6月30日(水)フードパントリー学習会 備品貸出、資料配布9月8日(水)フードパントリー実行委員会9月14日(火)フードパントリー役員 打ち合わせ9月15日(水)自主グループ立ち上げ相談:西部地域生活支援コーディネーター10月15日(金)ポリフォニー卒業生の居場所づくり 打ち合わせ10月29日(金)ポリフォニー卒業生の居場所づくり 打ち合わせ10月30日(土)第1回フードパントリー(東久留米フードパントリー準備会)11月2日(火)フードパントリー反省会11月22日(月)フードパントリー運営相談11月29日(月)ポリフォニー卒業生 桂林荘 町田先生 顔合わせ1月14日(金)不登校児童の通学支援1月17日(月)東京都助産師会東久留米・清瀬・西東京地区分会会場見学2月7日(月)ひきこもり女子会立ち上げ相談2月7日(月)ひきこもり女子会立ち上げ相談2月7日(月)フードパントリー需要確認:子ども家庭支援センター2月16日(水)フードパントリー需要確認:生活困窮者自立相談支援2月21日(月)駄菓子屋ばるぶんて氷川台関係者会合2月25日(金)ポリフォニー卒業生居場所づくり検討

東米より東西学 ※4.5	車業内容及びお田の概画
事業または事項等 単位:円	事業内容及び成果の概要
	3月14日(月)フードパントリーひよこ 運営相談
	3月25日(金)ポリフォニー卒業生 居場所づくり検討
広 報	4月22日(木)FM ひがしくるめ(現 TOKYO845 くるめラ)・氷川台自治会ラジ オ回覧版
	^
	6月9日(水)滝山1~5丁目 自治会へ事業PRチラシ 40部 配布
	6月24日(木)FM ひがしくるめ(現 TOKYO845 くるめラ)・氷川台自治会ラジ
	才回覧版)
	7月28日(水)西部地域33自治会事業案内チラシ送付(167部)
	1月19日(水)市内54か所事業案内チラシ布置(700部)
	4・9・12・2月 ひがしくるめ社協だより 記事掲載
研修等への参加	9月2日(木)東京都ひきこもりに係る支援者向け研修 寄り添い合うこと
	9月10日(金)東京都ひきこもりに係る支援者向け研修 やりたいこと探しから
	社会関係資本づくりへ
	10月22日(金)東京都ひきこもりに係る支援者向け研修 家族支援セミナー
	10月29日(金)東久留米市障害者雇用セミナー2021 東久留米で働くを考える
	1月21日(金)生活困窮者自立支援法に基づく事業従事者向け課題別研修
	1月31日(月)ひきこもり地域家族会連絡協議会地域家族会交流会
	2月20日(日)ひきこもりの理解促進と支援力向上のための研修会 実践編
	2月27日(日)ひきこもりの理解促進と支援力向上のための研修会 実践編
	3月26日(土)ポリフォニー・オープンカレッジ:オープンダイアローグってなんで
	すか?
その他(見学等)	1月18日(火)氷川台地区 駄菓子屋ぱるぶんて
2 情報発信事業の充実	地域における福祉に関する情報を広く収集・提供する。特に、これまでの紙ベース
広報誌・情報誌などの	を媒体とした方法からインターネットやスマートフォンなどへの活用にも積極的に
発行	取り組む。 ※9 月 1 日・第 214 号は、50 周年記念特集号として発行(2ページ
社協だより	挟み込み。詳細は、53 ページ「法人認可 50 周年記念事業」参照。
3,743,752	発行月 4、9、12、2 月 年 4 回
【前年度 3,687,711】	発行日 各号1日
広告料収入 288,000	発行号 4/1 第 213 号、9/1 第 214 号(※50 周年特集号折込み)、
【前年度 374,000】	12/1 第 215 号 2/1 第 216 号
	全戸配布 約 54,000 世帯(前年度約 54,000 世帯)
	広報費(印刷) 2,649,900 円(前年度 2,613,600 円/36,300 円増)
	※50 周年記念特集号印刷分については、「法人認可 50 周
	年記念事業」として別途記載
	配布手数料 1,003,214 円(前年度 988,783 円/14,431 円増)
	※50 周年記念特集号配布分については、「法人認可 50 周
	年記念事業」として別途記載

事業または事項等 単位:円	事業内容及び成果の概要				
	振込手数料 1,540円(前年度 2,200円/▲660円)				
	郵送料 89,098 円(前年度 83,128 円/5,970 円増)				
	※共同募金の結果報告・礼状の企業・団体送付分含む				
	広告料収入 288,000円(前年度 374,000円/▲86,000円)				
	※令和3年4月号分は令和2年度に計上134,000円				
	○社協だよりの電子データ化(詳細は、「法人認可 50 周年記念事業」) ※再掲				
	DVD 作成委託 225,500 円				
	これまで発行した「社協だより」(~213 号)を電子データ化し DVD を作成。近隣				
	社協や関係団体等へ配布。				
	○デイジー音訳によるひがしくるめ社協だより				
	CD(コンパクトディスク)に録音して必要とされる方へ配布。				
	配布先:市内8人				
	音訳協力:個人ボランティア 12 人				
	謝金:2,000 円/1人1回(1号1~2人体制) 合計16,000円				
	○社協音訳ボランティア登録者連絡会				
	新型コロナウイルス感染症の影響により、6月21 日にオンラインで実施。事前アンケ				
	一トにより各号の音訳担当者を決定し、ご協力いただいた。				
	Treat of the first				
 ボランティア通信の発行	 ボランティア情報に特化させ、需要と供給のニーズを満たすことを意図した内容を				
134,361					
【前年度 67,999】	発行回数 5回(前年度4回) 5·7·11·1·3 月				
113 1 /2 01,0001	発行部数 7,585 部(前年度 6,214 部/1,371 部増)				
	布置場所 市内公共機関、金融機関、東久留米駅、商店等				
	※個人ボランティア登録者、登録ボランティア団体、及び民生・児童委員へ送付				
	配達ボランティア2人(前年度4人)、仕分けボランティア1人				
	○デイジー音訳によるボランティア通信				
	CD(コンパクトディスク)に録音して必要とされる方へ配布。				
	録音者:個人ボランティア 5 人(前年度 5 人)				
	配布先:市内 5 人(前年度 5 人)				
	謝金:2,000 円/1 回				
	W11 10 2 2 1 1 / 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				
 ボランティア情報の発信	│ │ ○from ボランティアセンター 年 4 回発行(社協だより 3 面掲載)				
	○災害ボランティア情報ブログ 記事数3件(前年度5件/▲2件)				
	○くるくるチャンネル ~東久留米のふれあい情報サイト~ 登録				
	(https://kuru-chan.com/)				
ホームページなど電子媒	 ホームページ、各種 SNS の活用はもとより、ボランティア・イベント情報等を登録				
体を活用した情報の発信	者にメール配信し、興味関心のある分野の最新情報を取りやすい仕組みを構築。				
ホームページ	災害ボランティア情報ブログも開設し、災害支援ボランティアの最新情報を配信し				
247,340	ている。スマートフォンやタブレット端末でもアクセス可能なレスポンシブデザイン				
【前年度 236,780】	で、拡大文字、音声読み上げシステムを導入し、誰もがより使いやすく情報を得や				
[111] 一汉 200,100]	The state of the s				

事業または事項等 単位:円

事業内容及び成果の概要

すい媒体として活用している。

https://www.higashikurume-shakyo.or.jp/

○ホームページアクセス解析結果

▶ページビュー合計: 94,288件(前年度 82,080件/12,208件増)

4月	5月	6月	7月	8月	9月
9,535件	8,668件	9,179 件	7,952件	7,401件	6,262件
10月	11月	12月	1月	2月	3月
6,430件	8,323件	6,395件	8,043件	7,226 件	8,874件

▶ページ閲覧数順位

- 1.トップページ 15,517件(前年度 18,120件/▲2,603件)
- 2.【重要なお知らせ】新型コロナウイルス感染症による緊急小口資金等特例 貸付の貸付金送金までの期間について 8,295件

(前年度生活福祉資金/生活福祉資金特例貸付3,700件/4,595件増)

- 3. ファミリー・サポート・センター事業 5,354 件 (前年度 2,955 件/2,399 件增)
- ▶訪問者数合計:31,562件(前年度 22,870件/8,692件増)

4月	5月	6月	7月	8月	9月
3,345件	2,765件	3,335件	2,667件	2.597件	2,432件
10月	11月	12月	1月	2月	3月
2.223件	2,296件	2,160 件	2,404 件	2,594件	2,744 件

○お好みボランティア・イベントメールサービス

登録者数 195 件(前年度 214 件/▲19 件)

○ホームページバナー広告料収入 0円(前年度3,000円/▲1件)

※1 コマ×月 1,000 円

SNS 開設·運用

市民に対して行う地域福祉に関する様々な情報提供について、積極的かつ即時 に発信することにより、ボランティア・市民活動への参加の門戸を広げるために、令 和2年9月10日より開設・運用。投稿する情報等は、本会が行う事業に関する情 報、事業以外の福祉に関する情報、災害発災時等、緊急を要する情報など。

·Facebook https://bit.ly/3hsYHFt



Twitter https://twitter.com/kurume_higashi

·LINE https://lin.ee/ePc3hcP

https://www.youtube.com/channel/UCDoMQG_-mYurUQ5lZyTR66Q



3 相談活動の充実

福祉相談所事業の実施

身近な地域で気軽に福祉に関する悩みや困りごと等を相談できるように市内の各 地域に点在する福祉関連施設等に「福祉相談所」を設ける取り組み。

※市内社会福祉法人連絡会における取り組みとの位置づけを調整中

相談所実施か所

·YouTube

7 か所(特定非営利活動法人ゆいまぁる、特定非営利活動法人武蔵野の里、

事業または事項等 単位:円	事業内容及び成果の概要
	中央町・浅間町・野火止・南町・八幡町地区センター)
	·相談件数 15 件(前年度 4 件/11 件増)
無料法律相談	認知症高齢者、知的・精神に障がいのある方の相続・贈与・財産分与や成年後見
345,708	制度について、弁護士による相談を無料で実施。
(市補助金 300,000)	・相談員 弁護士(東京三弁護士会より派遣)
【前年度 219,996】	・実施日時 毎月第2日曜日午後2時~4時40分(1件40分)※事前予約制
	・場所 中央町地区センター 相談室
	・対象者 市内在住の「高齢者(65歳以上)」と「知的障がい者・精神障がい者の
	本人または親族」、「地域福祉権利擁護事業の利用契約者」
	・受付内容 認知症高齢者、知的・精神に障がいのある方の相続・贈与・財産分
	与や成年後見制度、福祉サービスの苦情について
	·実施回数 11 回(前年度 7 回/4 回増)
	·申込件数 28 件(前年度 22 件/6 件増)
	·実施件数 22 件 (前年度 19 件/3 件増)
	・相談内訳 相続17件、権利侵害2件、離婚1件、成年後見制度2件
	(前年度 相続 10 件、権利侵害 5 件、金銭トラブル 3 件、遺言 1 件)
	4月11日 5月9日 6月13日 7月11日 8月15日 9月12日 3件 中止 2件 2件 3件 1件
	10月10日 11月14日 12月12日 1月9日 2月13日 3月13日 1件 1件 4件 2件 2件 1件
	※新型コロナウイルス感染症拡大防止及び会場使用制限のため 5 月は中止。
4 福祉学習の推進	 ボランティア活動推進事業の円滑な運営を目的に、ボランティア活動推進事業に
(ボランティアセンター事業)	関する企画、立案、ボランティアセンター機能に関する提言、その他ボランティア活
ボランティア活動推進事業運	動を推進するための必要な事項について検討する。
営委員会	 検討内容 令和4年度実施予定イベントの企画立案
34,227	第 1 回 6 月 29 日(火)午後 2 時~4 時/社協会議室・オンライン
【前年度 22,054】	出席者 委員7人 事務局4人
	第 2 回 10 月 13 日(水)午前 10 時~正午/社協会議室・オンライン
	出席者 委員7人 事務局4人
	第 3 回 12 月 22 日(水)午前 10 時~正午/社協会議室・オンライン
	出席者 委員9人 事務局4人
	第4回 3月4日(金)午前10時~正午/社協会議室・オンライン
	出席者 委員8人 事務局4人
福祉学習啓発事業の	多様な活動や福祉学習の機会を多世代の市民に紹介し、地域福祉の課題を身近
充実	なものとして考え、お互い様の関係とボランティアの担い手になるきっかけづくりを
	することで、地域福祉の推進を図る。
チャレンジボランティア講座	1【チャレンジボランティア講座】

36,898 | 寄付やオンラインのお話し相手等、コロナ感染対策をとったボランティア活動の体

【前年度 2,940】 | 験。ボランティアの基礎を学ぶための動画を YouTube に公開し、視聴後に活動

事業またけ車位体 ※4.m	事業内容及び成果の概要
事業または事項等 単位:円	
	に申し込む。
	対象 小学校3年生以上の児童・生徒・学生・社会人
	協力団体 18団体(内訳:高齢者4団体、障がい者6団体、児童8団体)
	参加人数 13人(前年度実施なし) ※計中京 チケリケフスカの実け2 冷り冷の実け4 チケリかさまり、第11の
	活動内容 手作り布マスクの寄付2人、塗り絵の寄付4人、手作りおもちゃ・飾りの 寄付4人、手縫いの雑巾の寄付2人、暑中見舞いの送付1人
	司的4八、子腱(の)権中の司的2八、者中兄舜(の)医的1八
ボランティアスクール	 ○出前講座
6,533	
【前年度 9,175】	
Kiji i je oji i oj	日時 10月11日(月)午前10時~11時
	内容 ボランティアとは
	主催 市介護福祉課
	・オンライン災害ボランティア講座
	日時 9月15日(水)午後7時~9時
	内容 災害発生に備えた東久留米市社会福祉協議会の取り組み
	主催 災害支援・防災教育コーディネーター 宮﨑賢哉 氏
	・ボランティア団体等派遣9件(前年度9件)
	※ボランティア依頼件数より一部再掲
	第一小学校 4 年生 2 クラス77人(高齢者疑似体験・車いす体験)
	第二小学校 4 年生 3 クラス 84 人(車いす体験)
	第二小学校 4 年生 3 クラス 84 人(アイマスク体験)
	第二小学校 4 年生 3 クラス 84 人(高齢者疑似体験)
	第三小学校 4 年生 3 クラス 85 人(高齢者・車いす・アイマスク体験)
	第六小学校 4 年生 2 クラス 47 人(高齢者疑似体験)
	第九小学校 4 年生 3 クラス 86 人(高齢者疑似体験・アイマスク体験)
	小山小学校 4 年生 2 クラス 53 人(車いす体験・アイマスク体験)
	本村小学校3年生1クラス41人(車いす体験・アイマスク体験)
ま見込動は担の登 局	
市民活動情報の発信	ボランティア活動や市民活動の情報発信を通じて、多くの市民が地域を良くする 活動に参加する機会づくりと、団体活動の支援を目的として、市民活動情報を集
15,416	佰動に参加する機会 プイケと、団体店動の支援を目的として、印氏店動情報を集 め、ホームページに掲載している。
	あ、ホームペークに掲載している。 掲載団体数 117 件(前年度 173 件/▲56 件)
	拘載団体数 117 件(前年度 173 件/ ▲36 件) NPO 法人 65団体(前年度66団体/▲1 件)
	NFO 伝入 05回体(前牛及00回体/ ▲1 件) ボランティア団体 29 グループ(前年度 31 グループ/ ▲2グループ)
	ミニデイホーム・子育てサロン/補助金交付団体 16グループ
	マーティホーム・子育 C リロンノ 補助金交的 国体 16グループ (前年度 16 グループ)
	で、前午及 16 クループ) その他 7団体(前年度 11 団体/▲4団体)
	C v > l 區 1 屆 1 仲 / 問 中 / 反 1 1 国 1 仲 / ■ 4 四 仲 /
18-1-24-5	 ボランティアコーディネートに必要な相談、需給調整を始め、ボランティアの方が安
ボランティアの養成	

心して活動できるようボランティア保険受付窓口や活動のフォローアップを行う。

事業内容及び成果の概要 事業または事項等 単位:円 ○ボランティアコーディネート依頼 30 件(前年度 33 件/▲3 件) ボランティア総合相談・需給 ○相談件数 472 件(前年度 570 件/▲98 件) 調整 内容内訳(単位:件数) 66,454 活動 報告 情報 その 機材 【前年度 81,646】 登録 講座 保険 合計 相談 貸出 連絡 提供 他 件数 44 ()1 2 48 334 4 39 472 割合(%) 9.3 0 0.2 0.4 10.2 70.8 0.8 8.3 100 ※機材:アイマスク、点字器、白杖、スクリーン、テレビ、ビデオデッキ、印刷機、 テント、発電機、投光機、防災用ラジオ ○物品寄付 ・使用済切手、手づくり品など ・チャリティー販売(手作り作品の物品寄付をボランティアセンター、中央町地区 センターで販売) 合計 9,791円(前年度 9,020円/771円増) ※再掲(48ページ「寄付金」) 個人・団体のボランティアを登録し、情報発信、コーディネートなど側面的な活動支 ボランティア登録管理 援を行う。 ・個人ボランティア登録者 42人(前年度50人/▲8人) ・登録ボランティア団体 29 グループ(前年度31グループ/▲2 グループ) 収入 26,993 円(東京都社会福祉協議会より・前年度 46,179 円/▲19,186 円) ボランティア保険・行事保険 ・ボランティア保険の取り扱い 受付窓口事業 1.182 人(前年度 1.417 人/▲235 人) 収入 26,993 【前年度収入 46,179】 ・行事保険の取り扱い(行事開催件数) 49件2,387人(前年度34件2,186人/15件201人增) ・行事保険(当日参加対応型)の取り扱い(行事開催件数) 11 件 1,349 人(前年度 0 件) ボランティア市民活動団体が単独では開催できない講座や事業に対して本会と協 地域協働事業 働で事業をしたいという提案があった際、事業内容が本会の趣旨と一致し、かつ 49.500 地域のニーズとなっている場合は一定の条件下で柔軟に幅広く協力する。そのこ 【前年度 54,700】 とにより、地域ニーズへ即応することもでき、またボランティア団体への支援につな げる。 ○滝山おじいさんおばあさん食堂 新型コロナ感染症拡大につき2月実施を延期

※1月27日付交付決定通知書にて通知済み(助成金額100,000円)。

令和4年度予算にて交付予定

○住みよいまちづくり弥生 支出 49,500 円

日時 4月18日(日)~3月31日(木)

協働団体 住みよいまち弥生

事業内容 協働事業ミーティング7回、定例会総会6回、ニュースレター発行6回

事業または事項等 単位:円	事業内容及び成果の概要
事業まだは事項守 単位・自	
	防災まち歩き・地図づくり、氷川台自治会長講話
	参加人数 119人
ネットワーク事業	 ボランティア活動推進に伴う関係機関とのネットワークを形成するため、各種連絡
26,835	会を開催・参画する。
【前年度 62,594】	○音訳ボランティア連絡会
	社協だより及びボランティア通信の音訳ボランティアへの依頼調整、情報交換
	日時 6月21日(月)午前10時~11時
	 参加人数 5人
	開催方法 社協会議室、オンライン
	内容 自己紹介、年間予定、情報交換
	○ボランティア連絡会
	日頃から個人登録ボランティア、団体登録ボランティアとして活動されている個人・
	団体を対象に、情報交換やボランティア同士の横のつながり作りの場を提供し、ボ
	ランティアしやすい環境づくりを進める。また、昨年度に引き続き、新型コロナウイ
	ルス感染症の影響により活動の中止を余儀なくされたボランティアが多いため、コ
	ロナ禍でも行われている活動について情報を共有する。
	日時 11月25日(木)午後2時~3時半
	参加人数 5人:3団体3人、個人2人(前年度5団体8人/▲2 団体、▲3 人)
	開催方法 中央町地区センター第3・第4会議室
	内容 自己紹介、ボランティアセンターから情報提供、情報交換
	○福祉施設ボランティア担当者連絡会
	新しい生活様式下においては、人と会わずにできるボランティアのみ募集している
	施設や、活動の受け入れを行っていない施設等、団体ごとにボランティアの受け入
	れ状況が異なっている。連絡会を開催し、各施設での受け入れ状況や気を付けて
	いる点等を共有することで、コロナ禍において減退した市内ボランティア活動の活
	性化を図る。また、各施設の受け入れ情報をボランティアセンターで把握し、今後
	の事業検討の材料とする。
	日時 8月24日(火)午後2時~3時
	参加人数 4団体4人(前年度 6 団体 6 人/▲2 団体▲2 人)
	開催方法 中央町地区センター第3・第4会議室、オンライン
	内容 自己紹介、情報提供、コロナ禍においてボランティアセンターに期待す
	る役割や事業についての意見交換、その他
	○ボランティア・市内福祉施設ボランティア担当者合同連絡会
	本会に登録している個人・団体ボランティア、市内福祉施設のボランティア担当者
	本名に登録している個人 団体パッシュイン、ロア国は地域のパッシュインに当場 を対象に、事業報告や情報交換の機会を設けることで市内でのボランティア活動
	の活性化を図るとともに、ボランティアが活動しやすい環境をつくる。
	日時 2月15日(火)午後2時~3時半
	参加八数 9八・個八豆球3八、3回体3八、3同師有価値施設3八 開催方法 オンライン
	開催力伝 オンプラン 内容 自己紹介、情報提供、ボランティア受け入れに関する情報交換
	四台 日日和川、旧報延供、ハノノナイチ文リ人4号99旧報父撰

事業または事項等 単位:円	事業内容及び成果の概要
	○北多摩北部ブロックボランティア担当者連絡会(幹事:武蔵野市、東久留米市)
	近隣ボランティアセンターの情報交換及び合同研修会の開催。
	第1回 5月12日(水)午前10時~正午 派遣人数1人
	開催方法 オンライン
	内容 令和3年度事業計画、夏の体験ボランティア、東京都・東村山市合同防 災訓練
	第2回 6月15日(火)午前10時~11時半 派遣人数1人
	開催方法 オンライン
	内容 東京都·東村山市合同防災訓練、合同防災訓練第1回 PT 会議
	第3回 9月3日(金)午後2時~4時 派遣人数1人
	会場 オンライン
	内容 夏の体験ボランティア、下半期実施スケジュール、情報交換
	第4回 12月21日(火)午前10時~11時半 派遣人数1人
	会場 東久留米市社会福祉協議会 会議室 A·B
	内容 9月以降実施の事業、情報交換
	第5回 3月22日(火)午前10時~11時半 派遣人数1人
	会場 オンライン
	内容 実施した事業、情報交換、次年度の体制
	○北多摩北部ブロック社協・アクションプラン推進会議合同 東京都・東村山市合
	同総合防災訓練における防災まち歩き PT 会議
	都立東村山中央公園にて開催される令和3年度東京都・東村山市合同総合防災
	訓練における災害ボランティアに関する訓練の検討
	第1回 7月6日(火)午後1時半~3時半 派遣人数1人
	開催方法 オンライン
	内容 自己紹介、東京都区市町村総合合同防災訓練、PT会議の今後の予定
	第2回 8月3日(火)午後3時半~5時 派遣人数1人
	開催方法 オンライン
	内容 総合合同防災訓練の検討
	※11月実施予定の総合合同防災訓練は新型コロナウイルス感染症の感染拡大に
	より中止
	第4回 12月16日(木)午前10時~正午 派遣人数1人
	開催方法 オンライン
	内容 令和4年度での総合合同防災訓練の検討
	第5回 2月2日(水)午前10時~午後 0 時15分 派遣人数1人
	開催方法 オンライン
	内容 令和4年度での総合合同防災訓練の検討 第6日 3日18日(会) 左前16時 左後 0時15公 海港 1 ****1 1
	第6回 3月18日(金)午前10時~午後 0 時15分 派遣人数1人
	開催方法 オンライン
	│ 内容 令和4年度での総合合同防災訓練の検討 │○区市町村ボランティア・市民活動推進事務局連絡会議
	第1回 4月21日(水)午後1時15分~3時15分 派遣人数1人

事業または事項等 単位:円	事業内容及び成果の概要
	会場 オンライン
	内容 令和3年度の TVAC 体制・事業方針、情報提供、意見交換
	第2回 7月28日(水)午後3時~5時 派遣人数1人
	開催方法 オンライン
	内容 情報提供、意見交換(ソーシャルメディアの運用)
	第3回 10月15日(金)午後3時~5時 派遣人数 1人
	開催方法 オンライン
	内容 情報提供、話題提供、意見交換
	○区市町村ボランティア・市民活動センター長会議
	第1回 6月17日(木)午後3時~5時 派遣人数 1人
	開催方法 オンライン
	内容 情報提供、意見交換
	第 2 回 12 月9日(木) 午後 3 時~5 時 派遣人数 1人
	開催方法 オンライン
	内容 情報提供、情報交換・意見交換「コロナ禍を踏まえ、改めてこれからの
	ボランティア・市民活動の姿を考える」
	○区市町村ボランティア・市民活動センター運営委員及びセンター長等合同会議
	9月2日(木)午後1時半~4時 派遣人数 1人
	開催方法 オンライン
	内容 情報提供、リレートーク「市民によるまちづくりを目指して〜ボランティ
	ア・市民活動センター運営委員への参加から」、分科会「さまざまな地域
	の取組みを聞きあおう」
	│○区市町村災害時ボランティア担当者会議 │ □味 12日2日(全)欠終1時以 2時以 ※海 (** 1.1
	日時 12月3日(金)午後1時半~3時半 派遣人数 1人
	会場 オンライン 内容 話題提供、意見交換
	内容 話題提供、意見交換
《中ゴニンニュフトンカ	 日頃から市民の防災意識を高め、災害時に市民自身が自助・共助による減災活
災害ボランティアセンター に関する活動	動や復旧、復興に取り組んでいける地域づくりのため、災害時の災害ボランティア
災害ボランティアセンター	センター運営やボランティア活動のコーディネート、平常時の訓練や普及啓発事業
市民スタッフ養成講座	に協力する市民スタッフを養成する。
22,759	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
【前年度 12,552】	人数10人に達しなかったため中止
	· —
災害ボランティアセンター	 東久留米市との協定により、災害時に本会が設置する『災害ボランティアセンタ
市民スタッフの会	ー』の運営を担う、本会に登録した市民のボランティアスタッフ。
1,216	登録人数45人(前年度 60 人/▲15 人)
【前年度1,931】	○市民スタッフ顔合わせ会

災害時には、社協と市民スタッフ及び市民スタッフ同士の情報共有や連携が不可欠だが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、顔を合わせる機会が減少している。顔を合わせ話し合う機会を設けることで、各スタッフの平時の取り組みや様

事業または事項等 単位:円	事業内容及び成果の概要
	子を知るとともに、災害時の速やかな連携を目指す。
	日時 12月6日(月)午前11時~11時半
	会場 オンライン
	内容 自己紹介、市民スタッフ登録状況、災害時のための市民協働 東京憲章
災害ボランティアセンター	 コロナ禍の災害ボランティアセンター運営で活用された各種オンラインツール
市民スタッフの会 フォロー	(Zoom ミーティングや Google フォーム)等のサービスは、時間や距離に縛られ
アップ講座	では使用できることから、コロナ終息後も活用が予想される。オンラインを活用し
108,451	一、た災害ボランティアセンターの運営の流れを理解してもらうことで今後のスムーズ
【前年度 74,900】	な運営につなげる。
[Hij 十/文 1 4,500]	日時 2月26日(土)午前10時~正午
	芸物 45、45、66歳テラケと時 来去主い オラブイラ 講師 災害支援・防災教育コーディネーター 宮﨑賢哉 氏
	参加 13人(会場:2人、オンライン11人)
	参加 13人(芸場・2人、オンプイン11人)
災害ボランティアセンター	 災害用備品を備えておくことで、災害発生時、災害ボランティアセンターのスムー
備品整備	ズな立ち上げ、運営を目指す。
342,017	 整備物品:二酸化炭素濃度測定器、カメラアダプタ、ヘッドセット、ポータブル電源
【前年度 159,205】	各種、電源収納バッグ、LED 移動式作業灯
5 福祉関連団体等との	地域で活動している福祉関連団体との連携をすすめる。
連携・協力の充実	○東久留米市内社会福祉法人連絡会と事務局
福祉関連団体連絡会・	東久留米市内に所在する社会福祉法人及び東久留米市内で事業所等を経営す
研修会の開催	る社会福祉法人が相互に情報交換を行い、それぞれの専門性を活かして地域の
市内社会福祉法人連絡会	ニーズや課題を受け止め、連携・協働により地域公益活動等に取り組むことで、住
50,095	 みやすい安心して暮らせる地域づくりの推進に寄与することを目的とする連絡会
(東京都地域公益活動推進	の事務局を担う。
事業ネットワーク助成金)	 会 長 社会福祉法人しおん保育園 理事長 早川寿美子 氏
50,000	 副会長 社会福祉法人三育ライフ 理事長 東海林正樹 氏
00,000	 副会長 社会福祉法人イリアンソス 理事長 磯部光孝 氏
	 監 事 社会福祉法人龍鳳 理事長 苅部一夫 氏
	 ○定期総会(第5回)
	10月18日(月) 午後2時~4時 出席14法人・15人、事務局4人
	会場 わくわく健康プラザ2階 集会室1
	出席 高 齢・・・(4)竹恵会、三育ライフ、マザアス、園盛会
	障がい・・・(7)イリアンソス、すぎのこ、森の会、龍鳳、恩賜財団東京都同
	胞援護会、椎の木会、チャレンジャー支援機構
	児 童…(2)しおん保育園、清心福祉会
	その他…(1)東久留米市社会福祉協議会
Ī	
	内容 議題①令和元年度事業報告・決算、②令和3年度事業計画・予算、③

事業または事項等 単位:円	事業内容及び成果の概要
	報交換
	○幹事会幹事
	高齢・障がい分野より各2法人、児童分野より1法人(児童分野1法人欠員)
	計5法人と事務局(社協)
	社会福祉法人三育ライフ シャローム東久留米施設長 我謝 悟 氏
	社会福祉法人マザアス マザアス東久留米施設長 松澤雅子 氏
	社会福祉法人イリアンソス 理事長 磯部光孝 氏
	社会福祉法人恩賜財団東京都同胞援護会 さいわい福祉センター所長 河野
	直樹氏
	社会福祉法人しおん保育園 理事長・園長 早川寿美子 氏
	社会福祉法人清心福祉会 わらべ東久留米保育園園長 境 惠子 氏(第5回総会 にて辞退・解任)
	○幹事会
	○
	会場 社協会議室及びオンライン
	内容 会長・副会長・監事の改選について、令和3年度第1回総会議案、
	令和3年度地域ネットワーク助成事業申請について
	 第2回 9月 9日(木) 午後4時~5時20分 出席6法人·6人、事務局2人
	会場 社協会議室及びオンライン
	内容 会長・副会長・監事候補者の決定、令和3年度総会議案・開催方法・
	役割分担について、今後の予定について
	第3回 令和4年4月12日(火) 午後4時~5時30分 出席5法人・5人、事務局2人
	会場 社協会議室及びオンライン
	内容 令和4年度事業計画・予算について、総会議案内容について
	○分科会
	[情報交換・交流]年度目標:連絡会としての情報交換・交流の内容の検討をすす
	める
	第1回 10月18日(月)※総会内情報交換 出席3法人・3人、事務局2人
	会場 わくわく健康プラザ2階 集会室1
	内容 コロナ禍での施設運営について、今後の活動について
	第2回 1月27日(木) 午後3時~3時55分 出席8法人·10人、事務局3人
	会場 社協会議室
	内容 企画案アンケート結果の共有、連絡会としての情報交換・交流の内容に
	ついて、令和4年度の予算について
	[広報]年度目標:広報紙創刊号の発行
	第1回 10月18日(月)※総会内情報交換 出席4法人・4人、事務局1人
	会場 わくわく健康プラザ2階 集会室1
	内容 今後の具体的な活動について、広報紙の内容について 第2回 11月0日(水) ケ後4時半。5時 出席4法人4人 東森昌2人
	第2回 11月9日(火) 午後4時半~5時 出席4法人・4人、事務局3人
	会場 さいわい福祉センター2階 会議室
	内容 広報紙レイアウト図案、文字、字体、記事内容について

事業または事項等 単位:円	事業内容及び成果の概要
	第3回 1月11日(火) 午後4時~5時 出席3法人·3人、事務局3人
	会場 さいわい福祉センター2階 会議室
	内容 広報紙創刊号の作成・編集作業(見出し、字体等の最終確認)
	※活動の成果として、2月10日 広報紙創刊号発行
	電子データにて会員法人代表者へ配布済み
	[事業検討]年度目標:事業を検討する中で、それぞれの法人が持つ強みを共有
	第1回 10月18日(月)※総会内情報交換 出席6法人・7人、事務局1人
	会場 わくわく健康プラザ2階 集会室1
	内容 情報交換、今後の活動について
	第2回 11月18日(木) 午前10時~正午 出席5法人5人、事務局3人
	会場 わくわく健康プラザ2回 社協会議室
	内容 実際に取り組める事業について、メールを活用した取り組みについて
	※活動の成果として、会員法人同士で事業所の見学会を行い、取り組みや
	課題を共有するといった動きが出てきている
	○情報提供等
	・東京都地域公益活動推進協議会情報発信委員会主催研修の情報提供
	・東京都地域公益活動推進協議会地域ネットワーク推進委員会主催
	区市町村ネットワーク代表者連絡会の参加者とりまとめ
	(メール、電話、ファクスでの情報共有、相談、進捗連絡等)
福祉関連団体の活動支	地域で活動している福祉関連団体の事業や組織運営に関する相談を受け支援す
援·参画	るとともに、必要に応じて共催するなど、福祉関連団体と一緒に様々な事業に取り
	組む。更に、交流室を設けて、活動の場の提供と資材や機材の貸出しなどを行う。
	その他、各種団体が主催する会議等にも積極的に参加し、情報を共有する。
 団体支援事業(ミニデイホー	 日中孤立しがちな高齢者・障がい者・乳幼児及びその親などを対象として市内各
公体又援事業(ペー) イホー ム・子育てサロン)	「一中孤立しからな高齢者・障がい者・紀幼光及しての税などを対象として刊内各 所にて活動中。随時、日ごろの活動についての相談や活動に必要な材料等に市民
ム・「自じりロン)	からの寄付物品を活用できるよう手配するなどの側面的支援を実施。
	○高齢者・障がい者を対象としたミニデイホーム
	·登録団体数 17団体(前年度19団体/▲2団体)
	○子育でサロン
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	○ミニデイホーム・子育てサロン活動情報リストの発行(前年度 中止)
	※新型コロナウイルスの影響により、都度の状況に応じて活動内容を変更する
	団体が多いため、発行を中止。
	○ミニデイホーム・子育てサロン連絡会
	※新型コロナウイルスの影響により、中止。個別相談会に変更。
	○支え合いの地区づくり事業助成金 個別相談会
	·日時 1月26日(水)~3月14日(月) 1時間程度
	・会場 社協会議室、団体の活動場所など
	·参加団体数(人数) 24団体(67人)

事業または事項等 単位:円	事業内容及び成果の概要
す木の八の子で 十四川	○ミニデイ通信の発行
	○ 、
	登録日件に同りて、利主コーケットルへは不無法人の正に同りたはり届して、文元 合い活動の状況など登録団体及び立ち上げ相談中の団体へ発行した。
	- 発行回数 3回(6月、9月、12月)
	・送付数 延べ60団体
	· 医竹数 是 / OO 国体
地域福祉活動特別助成	 指定寄付による特別助成 3件 234,811円
助成金額 234,811	(前年度1件110,000円/2件124,811円増)
【前年度 110,000】	・7月 東久留米子ども食堂ネットワーク こねっと 100,000円
	・10月 滝山ふれあい子ども食堂 22,411円
	・2月 東久留米子ども食堂ネットワーク こねっと 112,400円
民間助成団体募集の情報提供	 助成金情報vol.164~vol.176を事前に登録された団体あてにファクスもしくは
	 メールにて配信。各種財団の助成金募集情報を市内各団体に提供。
	 延べ278団体(前年度630団体/▲352団体)
	※ホームページに適宜公募記事を転載
意見書等の発行、申請書作	民間財団助成金の応募にあたり、社会福祉協議会からの意見書(推薦書)が必要
成支援	となる場合、内容を確認の上発行。また、申請書作成支援を実施。
	○相談 随時
	○意見書(推薦書)発行 9件(前年度2件/7件増)
	・公益財団法人みずほ教育福祉財団へ 特定非営利活動法人地域ケアネットワー
	クゆいまぁる「第19回配食用小型電気自動車寄贈事業」
	・公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団へ 特定非営利活動法人生活支援グ
	ループ夢来夢来「施設整備等助成事業」(福祉車両の購入)
	・公益財団法人キリン福祉財団へ東久留米子どもプロジェクト(事業名「誰でも来
	られる子ども食堂・無料塾」)、住みよいまち弥生(事業名「住みよいまち弥生」)
	「令和4年度キリン・地域のちから応援事業」
	・公益財団法人キューピーみらいたまご財団へ 特定非営利活動法人おたすけ
	隊・フードパントリーたまご(事業名「冷凍ストッカー購入、倉庫のサッシ交換」)
	「2022 年度助成プログラム B」
	・一般社団法人全国食支援活動協力会へ 特定非営利活動法人おたすけ隊(事
	業名「コロナ禍における生活困窮者緊急食支援」)「特定非営利活動法人ひとり
	親家庭等の子どもの食事等支援事業助成」
	・一般社団法人全国食支援活動会へ 特定非営利活動法人東久留米ふれあいの
	街(事業名「滝山ふれあい子ども食堂パントリー事業」) 「こども食堂運営継続応
	援プロジェクト東日本助成」
	・公益財団法人オリックス宮内財団へ 東久留米フードパントリーひよこ(事業名
	「ひよこ食堂」)「"子ども食堂応援プロジェクト"2022 年度助成」
	・公益財団法人東京都福祉保健財団へ 特定非営利活動法人自立支援センター
	グッドライフ「令和4年度 地域福祉振興事業助成金」

事業または事項等 単位:円	事業内容及び成果の概要
ボランティア交流室の運営	 ボランティアに関心のある市民へ、様々な福祉団体等の情報、ボランティア活動募
55,698	集情報を設置しているほか、福祉関係の書籍や行政等の報告書などを中心に、ビ
【前年度 39,271】	デオなどの資料を整備し、貸し出しを実施。また、印刷機の貸し出し、ボランティア
	 活動や打ち合わせなどにも自由に利用できるよう開放している。
	・開室時間等 ※緊急事態宣言期間中は開放を中止
	場所 わくわく健康プラザ 2 階
	開室時間 午前 9 時~午後 5 時 ※土日祝日・年末年始を除く
	・ボランティア情報(掲示板)
	場所 わくわく健康プラザ2階、中央町地区センター
	·図書貸出実績
	貸出期間 市民に対して原則 2 週間
	貸出件数 1件(前年度1件)
	延べ冊数 1冊【書籍・ビデオ】(前年度1冊)
	·録音室貸出実績
	貸出件数 31件(前年度 20件/11件増)
各種会議·委員等職員派遣	○東久留米市第二層協議体 〔介護福祉課/地域包括支援センター〕
	【東部】
	第2回6月28日(月)午後1時~2時 派遣人数1人
	会場 グリーンヒルズ東久留米南集会所
	内容 地域活動などで発生する緊急時の対応方法の検討、体制づくりについ
	て、コロナウイルス関連で地域活動が制限されている中でも、住民が地
	域活動に参加し交流できる環境づくりについて
	第1回 1月21日(金)午前10時~11時 派遣人数2人
	会場中央町都営アパート集会室
	内容 「もしものとき」に自分の希望を叶えるためにはどうしたらよいか、ほか。
	第2回2月25日(金)午前10時~11時15分派遣人数2人
	会場 中央町都営アパート集会室
	内容 「わたしの覚え書きノート」を活用するためにはどうしたらよいか、ほか。
	第1回11月19日(金)午後2時~3時 参加人数19人 派遣人数2人
	会場 わくわく健康プラザ1階 講堂
	内容 滝山地域の現状を知る(滝山3~5丁目)、意見交換・検討
	第2回1月吉日 書面開催
	内容第1回第二層協議体報告、あんしん生活調査アンケート結果、第二層
	協議体より立ち上がった地域住民主体活動、アンケート(地域での取り
	組むべき課題について 第3回3日18日(全)年後2時~3時 参加人数22人 派遣人数1人
	第3回3月18日(金)午後2時~3時 参加人数22人 派遣人数1人
	会場 わくわく健康プラザ1階 講堂

事業または事項等 単位:円	事業内容及び成果の概要
	内容 地域課題を共有、課題解決に向け協議・検討
	○地域ケア個別会議(東部のみ)〔介護福祉課/地域包括支援センター〕
	第1回 10月18日(月)午後2時~3時 派遣人数1人
	会場 マザアス3階交流ロビー
	内容 住民が住み慣れた地域で最後まで自分らしく暮らして行けるように
	するため、地域住民と介護支援者たちがどのように連携を図り支えて
	いけばよいか検討する
	○東京都社会福祉協議会 福祉資金部 福祉資金貸付担当
	特例貸付に関わる多言語対応ワーキングチーム委員
	9月2日(木)午後2時~5時 参加人数5人 派遣人数1人
	会場 東社協特例貸付事務処理場(飯田橋)
	内容 免除案内及び非課税証明書の取得方法ちらしの内容について、社協用
	説明ツールの内容について、その他
10,000	○東京都社会福祉協議会 福祉資金部 福祉資金貸付担当
東社協委員謝金	生活福祉資金本則にかかる意見交換会
	12月3日(金)午後2時~5時 派遣人数1人
	開催方法 オンライン
	内容 新型コロナウイルス感染症にかかる特例貸付の償還・免除手続きについ
	て、年金担保制度融資の事業廃止と生活福祉資金(本則)について
6 市民の自主的な地域	 地域の住民及び団体が主体的に参画し、その自主性と創造性により行われる地
福祉活動の支援	域福祉活動の経費の一部を助成金として交付する。特に、日中、孤立しがちな乳
福祉活動に対する助成	幼児を抱える親や障がい者、高齢者などを対象とした子育てサロンやミニデイホ
金の交付	ームに対しては、継続的に支援している。また、新規で事業を立ち上げる際の相談
	等にも対応している。
福祉団体助成 471,500	シニアクラブ連合会・福祉団体助成(前年度 471,500 円)
【前年度 471, 500】	※令和元年度より、東久留米市シニアクラブ連合会以外の団体については、
	歳末たすけあい募金地域福祉活動補助金へ完全移行。
歳末たすけあい募金 地域	東久留米市地域福祉推進事業補助金の対象事業除く。上限 150,000 円。補助
福祉活動助成	率はボランティアグループ・NPO 法人等は 3 分の 2、ミニデイホーム・子育てサロ
補助金額 439,000	ンが2分の1で実施。第1回(4月決定分)募集・決定後、予算の範囲内にて第2
(市補助金150,000)	回(9 月決定分)を募集。第 2 回は、対象をボランティアグループ・NPO 団体のみ
【前年度 960,000】	とした(ミニデイホーム・子育てサロンは、継続実施への支援であるため対象外)。
	その他ミニデイホーム・子育てサロン、団体立ち上げ資金について 50,000 円ま
	での実費範囲内で補助する。
	○決定総額 754,000 円 14 団体
	(前年度:1,665,000円 22団体/▲911,000円 ▲8団体)
	・ボランティア・NPO 法人等 決定額 50,000 円 1 団体
	(前年度 決定額 253,000円 3団体/▲203,000円 ▲2団体)
	第1回 決定額 50,000円 1団体

事業または事項等 単位:円	事業内容及び成果の概要
	第2回 申請なし
	・高齢者ミニデイホーム・子育てサロン 決定額 704,000 円 13 団体
	(前年度 1,412,000 円 19 団体/▲708,000 円 ▲6 団体)
	配分総額 389,000 円 12 団体
	(前年度:960,000円 21団体/▲571,000円 ▲9団体)
	○返還金額·該当団体 315,000 円 14 団体
	高齢者ミニデイホーム・子育てサロン
	(前年度 521,000 円 15 団体/▲206,000 円 ▲1 団体)
	○周知
	市報 6 月 1 日号、1 月 7 日号、社協だより 2 月 1 日号、本会公式ホームページ、
	SNS(Facebook、Twitter、LINE)、くるくるチャンネル掲載、対象団体宛にダ
	イレクトメール送付
	○説明会
	新型コロナウイルス感染防止のため中止し、個別の相談会を実施した。
	○個別相談会
	申請書の書き方ついて、予約制で相談会を実施(1 団体 1 時間)
	第1回 令和3年2月8日(月)~2月26日(金)
	第2回7月7日(水)~8月20日(金)
	○申請書配布・申込受付期間
	第1回 令和3年2月1日(月)~3月10日(水)午後5時まで
	第2回7月7日(水)~8月31日(火)午後5時まで
歳末たすけあい募金 コロナ	 令和 2 年度に引き続き、市内で継続的に活動するボランティア団体、ミニデイホー
感染防止対策補助金	ム・子育てサロン等に対し、新型コロナウイルス感染防止対策を行うために必要な
	資金の一部を補助する。上限 5,000 円~100,000 円(団体の規模による)。
【前年度 63,000】	
	(前年度 80,000 円 8 団体/40,000 円増 4 団体増)
	※決定後全額辞退 50,000 円 5 団体、一部辞退 9,000 円 2団体
	第1回 40,000円 4団体 ※全額辞退 30,000円 3団体
	第2回 70,000円 7団体
	※全額辞退 20,000 円 2 団体、一部辞退 9,000 円 2団体
	第3回 10,000円 1団体
	○交付額 61,000 円 7 団体
	(前年度 63,000 円 8団体/▲2,000 円 ▲1 団体)
	第1回 10,000円 1団体
	第2回 41,000円 5団体
	第3回 10,000円 1団体
	○周知 市報 6 月 1 日号、1 月 7 日号、社協だより 2 月 1 日号、本会ホームペ
	ージ、SNS(Facebook、Twitter、LINE)、くるくるチャンネル掲載、市内公共施
	設チラシ・ポスターの布置、対象団体宛にダイレクトメール送付、プレスリリース
	○申請書配布・申込受付期間

第1回 令和3年2月1日(月)~3月10日(水)午後5時まで	
第2回 7月7日(水)~8月31日(火)午後5時まで	
第3回 10月11(月)~11月9日(火)午後5時まで	
【新規】補助金検討委員会 本会の福祉活動に対する助成金及び補助金交付事業について、共同語	募金を有効
22,000 に活用し、新たな地域ニーズや多様な運営形態へ対応した、透明性と	公平性のあ
る仕組みを検討するため委員会を設置(委員8人)。検討結果を「補助	助金検討委
員会報告書(令和4年1月25日)」にまとめ、会長へ提言した。	
第1回 7月30日(金)午前10時~正午 オンライン	
出席者 委員 8 人、事務局 3 人	
内容 委員長・副委員長の互選、社協の補助金の現状と課題につ	いて、今後
のスケジュール	
第2回 10月1日(金)午前10時~正午 オンライン	
出席者 委員7人、事務局3人	
内容 補助金の対象について、審査基準について、その他	
第3回 11月16日(火)午後2時~4時 オンライン	
出席者 委員7人、事務局3人	
内容 審査基準について、周知方法について、その他	
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
助成等、地域福祉活動を充実するための地域における募金活動である	
赤い羽根共同募金 共同募金」及び「歳末たすけあい運動」を実施し福祉のまちづくりの推進	を図る。
歳末たすけあい運動	`
(地域支え合い募金) 東京都共同募金会東久留米地区協力会理事会(理事9名、監事2名	
地区協力会理事会 国民たすけあい精神を基調とし、東京都東久留米地区における共同第	
107,092 推進を図るため、東京都共同募金会の定める諸計画に基づき、民意で 【前年度 93.112】 映することを目的に活動の実施計画やボランティアの調整、配分推せん。	
	6安貝会へ
事務費収入 85,000 の協力などを担う。また、各種災害義援金等の募集窓口を担う。 預金利息等 3 ※新型コロナウイルス感染症予防のため書面決議を実施。	
預金利息等 3 ※新型コロナウイルス感染症予防のため書面決議を実施。 前年度繰越金 22,089 第 1 回 決議があったとみなされた日 9 月 17 日(金)	
次年度繰越金 31,514 方法 書面決議 ※決議に加わることができる理事数 8 人	
議題 令和 3 年度東久留米地区協力会での募金運動の展開方法	とについて
配分申請状況について、その他	310 21 01
第 2 回 11 月 24 日(水)午前 10 時~11 時 出席理事数 8 人	
会場 社協会議室	
	い運動実施
 内容	
内容 令和3年度共同募金実施概要、令和 3 年度歳末たすけあい 計画について、令和2年度及び令和 3 年度地域福祉活動費の	///繰越金にⅠ
計画について、令和2年度及び令和 3 年度地域福祉活動費の	

社協会議室

会場

事業または事項等 単位:円	事業内容及び成果の概要
	内容 歳末たすけあい運動(地域福祉活動募金)見舞金配分の承認につい
	て、令和3年度共同募金運動中間報告、その他
	第4回 1月20日(木) 午前10時~10時46分 出席理事数9人
	会場 社協会議室
	内容 令和 4 年度共同募金運動結果について、歳末たすけあい募金令和 3
	年度使用分 地域福祉活動費・使途変更(案)について、歳末たすけあ
	い募金令和 4 年度使用分 地域福祉活動費執行・配分計画(案)につい
	て、歳末たすけあい募金令和 4 年度事業実施計画(案)について、赤い
	羽根共同募金令和4年度地区協力会募金目標額について、その他
配分推薦委員会	東京都共同募金会東久留米地区配分推薦委員会(委員8名、監事2名)
64,228	東久留米地区の住民の地域福祉ニーズに応じて、地域における配分を調整し、東
事務費収入 50,000	 京都共同募金会配分委員会に対して意見を付すため委員会を開催した。
前年度繰越金 14,228	第1回 6月14日(月) 意思表示8人
【前年度 50,000】	※新型コロナウイルス感染症予防のため、書面決議を実施
	内容 令和3年度 第1次共同募金整備費・特別事業費(A配分)の推薦につ
	いて、令和 3 年度使用分 地域配分(B 配分)の使途変更方法について
	報告 令和 2 年度使用分 地域福祉活動費の精算報告、令和 3 年度 歳末
	たすけあい募金地域福祉活動補助金の報告、補助金検討委員会への
	委員推せんの報告、その他
	第2回 12月20日(月)午前10時~正午 社協会議室 出席者4人、社協3人
	内容 令和3年度(4年度使用分)共同募金の地域配分(B配分)の推せんに
	ついて
	報告 令和3年度使用分地域福祉活動費 11月時点執行状況について、令
	和 3 年度 赤い羽根共同募金運動、歳末たすけあい運動 中間報告
	(12/15 現在)、令和 3 年度 A 配分(全都配分)決定状況の報告、補
	助金検討委員会の報告
	第3回 1月27日(水) 意思表示 8人
	※新型コロナウイルス感染症予防のため、書面決議を実施
	内容 歳末たすけあい 令和4年度使用分 地域福祉活動費 執行・配分計画
	(案)の推せんについて
	報告 歳末たすけあい 令和3年度使用分 地域福祉活動費・使途変更につい て 今和3年度(今和4年度使用分)地区配分(2配分)の配分性は4につい
	て、令和3年度(令和4年度使用分)地区配分(B配分)の配分推せんについて、 て、赤い羽根共同募金 令和4年度地区協力会募金目標額について、令和
	4年度 歳末たすけあい募金地域福祉活動補助金事業の募集について
	マヤ/ス //X/ハ/こりりが分型心外間出伯邦/開切立事未り分末に ブ・・し
地域配分(B配分)の推薦事	平成 23 年度より東久留米地区内の申請案件について、東京都共同募金会が行
務・全都配分(A配分)にかかる	ってきた事務(申請案件の募集、とりまとめ作業、配分推薦、決定通知の送付、報
意見書交付	告書の取りまとめなど)を実施(人件費は含まず)。
	○地域配分(B配分)の配分申請受付
	周知方法:市内福祉施設・団体に郵送、東京都共同募金会ホームページ及び本会

事業または事項等 単位:円	事業内容及び成果の概要
	ホームページに掲載。例年同様、東京都共同募金会の共通様式に加えて、東久留米地区の独自様式(共同募金への積極参加や地域ボランティアの関わり等についてなど)、良くある質問をQ&A方式でまとめて周知した。申請受付期間:7月5日(月)~9月30日(木)午後5時まで申請件数13件配分申請総額1,630,000円(前年度12件配分申請総額1,561,000円/1件増69,000円増)配分推せん件数6件配分推せん総額680,000円(前年度12件配分推せん総額850,000円/▲6件▲170,000円)○全都配分(A配分)の意見書交付第1次件数2件配分決定金額2,000,000円(前年度3件配分決定金額3,950,000円/▲1件▲1,950,000円)第2次件数0件(前年度0件)※詳細は、64ページ別表参照
赤い羽根共同募金 募金額 1,180,522 【前年度実績 1,047,003】	期間 10月1日~30日 募金額1,180,522円(前年度実績1,047,003円/133,519円増) 共同募金会東久留米地区協力会として、自治会及び民生・児童委員協議会、障が い者施設等の協力をもって広く市民へ募金を呼びかけ、寄せられた募金を東京都 共同募金会へ送金 ○募金協力 ・自治会 54件848,952円(前年度815,809円/33,143円) ・個人、団体、企業 55件242,960円(前年度130,854円/112,106円増) ・au PAY 1件200円 ・街頭募金 新型コロナウイルスの影響により中止(前年度/同じ) ・募金箱 50か所88,410円(前年度100,340円/▲11,930円)
歳末たすけあい運動 (地域支え合い募金) 募金額 5,028,660 【前年度実績3,809,293】	期間 12月1日~31日 募金額 5,028,660円(前年度実績3,809,293円/1,219,367円増) 自治会及び民生・児童委員協議会ほか関係諸団体の協力を得て、全市的に募金 運動を展開。募金を財源に下記の歳末見舞金を支給。 ○募金協力 ・自治会 66件1,527,788円(前年度1,538,622円/▲10,834円) ・企業 44件786,034円(前年度472,000円/314,034円増) ・団体 60件723,724円(前年度846,413円/▲122,689円) ・個人 95件1,465,375円(前年度434,147円/1,031,228円増) ・街頭募金 新型コロナウイルスの影響により中止(前年度/同じ) ・募金箱52か所404,086円(前年度402,856円/1,230円増) ・職域募金 1か所121,651円(前年度1か所115,252円/6,399円増) ・預金利息2円 ○配分金 ・募金事務経費350,000円(臨時職員賃金、自治会募金事務費含む)

事業または事項等 単位:円	事業内容及び成果の概要
	 ・見舞金 要援護世帯 10 世帯 100,000 円(前年度 30,000 円/70,000 円増) ※市内で発生した大規模住宅火災被災者への見舞金 70,000 円を含む。 ○令和 4 年度使用分 地域福祉活動費 6,276,633 円 内訳 令和 3 年度募金分 4,578,660 円、前年度繰り越し分 1,697,973 円(前年度 3,429,293 円、前年度繰り越し分 1,595,680 円/1,251,660 円増) ※東京都共同募金会へ納付(令和 4 年度地域福祉事業に配分予定)
7 地域生活支援 サービスの充実 判断能力が低下した人の 支援事業の拡充 成年後見制度推進機関 市受託金 12,631,750 【前年度 12,631,574】	「成年後見制度推進事業」として判断能力が十分でない人が成年後見制度を利用して、自主・自立した地域生活ができるようにすることを目的に、関係機関と連携を図りながら利用相談、啓発活動などを行う(平成 21 年 4 月 8 日東久留米市から受託)。また、判断能力が低下した高齢者、知的・精神障がい者に対しては、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理、書類等の預かりなどの援助を行ない、在宅で自立した生活が送れるよう支援する「地域福祉権利擁護事業」(東京都社会福祉協議会より事業受託)を実施する。 ○成年後見人等の支援後見人等の支援後見人等の支援後見人等の支援のため、後見業務に関する研修や相談、連絡会を開催した。 ▶成年後見人等情報交換会 ※初期相談ネットワーク連絡会と合同開催2月3日(木)午後2時~4時5分参加人数31人開催方法:オンライン対象市内在住の後見人等(成年後見人、保佐人、補助人、任意後見人)、他市に住む親族の後見人等になっている市民および受任予定者、成年後見に関する相談を受ける機関参加者後見人等16人(内訳:司法書士9人、社会福祉士4人、行政書士1人、社会保険労務士1人、社会貢献型後見人1人)初期相談ネットワーク連絡会7機関14人(内訳:福祉総務課2人、介護福祉課2名、地域包括支援センター東部2人、中部2人、西部2人、在宅介護支援センター1人、社協3人)その他在宅療養相談窓口1名内容後見人と福祉関係者の情報交換ほか▶親族後見人への支援・親族後見人宛(15人)に情報提供(郵送)1回成年後見ニュースレターvol.13(1月4日発行)○地域ネットワークの活用
	●初期相談窓口ネットワーク連絡会 ※【再掲】成年後見人等情報交換会と合同開催。

第1回12月2日(木)午前10時~11時40分 参加人数15人

成年後見制度の初期相談を担う市内関係機関(初期相談窓口ネットワーク連絡会、成年後見制度推進機関)が成年後見制度における困難事例について検討及び情報交換を行うことで、後見人の役割、並びに後見人等と福祉関係者の連携等

について理解を深めることを目的に開催した。

事業または事項等 単位:円	事業内容及び成果の概要
	参加者 市関係課(福祉総務課、介護福祉課、障害福祉課)、地域包括支援セン
	ター(東・中・西部)、在宅介護支援センター、さいわい福祉センター
	内容 各機関からの報告、初期相談の流れ、情報交換
	第2回2月3日(木)午後2時~4時5分 参加人数14人
	▶成年後見・ケアマネ勉強会
	令和 2 年度より東久留米市主任介護支援専門員連絡会人権擁護部会との共催
	は、中断。
	▶成年後見制度推進機関運営委員会
	専門的・第三者的な立場から推進機関の運営に対する助言や監督を行う。
	第1回 2月7日(月)午前10時~11時50分 オンライン 出席者12人
	内容 令和 2 年度事業報告について、令和 3 年度事業計画と事業の進捗に
	ついて、情報交換、その他
	○成年後見制度に関する相談・手続き支援
	▶利用相談、申立て手続き支援 ※後見人支援含む
	·新規相談実人数 170 人(前年度 200 人/▲30 人)
	・相談延べ件数 2,985件 (前年度 2,605件/380件増)
	·家庭裁判所実態調查·申立同席 13 件(前年度 7 件/6 件增)
	▶成年後見制度専門相談
	推進機関等での初期相談後、成年後見制度利用等について、司法書士(奇数
	月)・社会福祉士(偶数月)による無料相談を実施。 ※事前予約制
	実施日時 毎月第4水曜日 午後2時~4時(1件60分)
	実施予定枠 12 回開催·相談枠 24 件分
	場所 わくわく健康プラザ 社協会議室 他
	対象者 ア. 初期相談窓口等での相談を受けた本人、親族等 イ. 市内関係機
	関職員 ウ. 推進機関担当者、地権専門員
	内容 法定後見・任意後見制度に関する相談
	実施回数 6回(前年度5回/1回増)
	申込件数 12件(前年度6件/6件增)
	実施件数 7件(前年度6件/1件增)
	4月28日 5月26日 6月23日 7月28日 8月25日 9月22日
	予約なし キャンセル キャンセル キャンセル 1件 1件 1件 10月27日 11月24日 12月22日 1月26日 2月16日 3月23日
	10月27日 11月24日 12月22日 1月26日 2月16日 3月23日 2件 予約なし 1件 1件 予約なし
	○成年後見制度に関する普及啓発活動
	東久留米市民を対象に、成年後見制度の周知を図るための啓発講演会を開催。
	また、市民向けの啓発パンフレットを作成配布した。
	▶啓発講演会
	4月22日(木)午後2時~4時 市民プラザホール

4月22日(木)午後2時~4時 市民プラザホール

参加人数 24 人/事前申込人数 28 人

講師 稲村晃伸 氏(弁護士)

内容 「成年後見(法定後見)制度とは」

9月30日(木)午後2時~4時 市民プラザホール

事業または事項等 単位:円	事業内容及び成果の概要
	参加人数 25 人/事前申込人数 26 人
	講師 野村幹雄 氏(司法書士)
	内容 「成年後見(法定後見)制度とは」
	▶パンフレット作成、配布
	「成年後見制度のご紹介」を公共施設・関係団体等へ頒布
	▶成年後見制度 出前講座
	10月13日(水)午前10時30分~11時42分シルバーピア団らん室(4号棟)
	参加人数 居住者 10 人、シルバーピア管理者 4 人、社協職員 1 人
	対象 都営東久留米南町一丁目アパート/シルバーピア
	○行政機関への支援(成年後見制度市長申立検討委員会)
	法定後見制度の市長申立て事案について、成年後見人等専門職の立場からその
	適否等を検討する。
	13 回開催(前年度 12 回/1 回増)
	市長申立検討案件 33 件(前年度 32 件/1 件増)
	内訳 市長申立検討事案の適否 30 件(福祉総務課 19 件・介護福祉課 9 件・
	障害福祉課2件)うち保留2件(福祉総務課2件)
	困難事例の検討3件(福祉総務課1件・介護福祉課1件・障害福祉課
	1件)
	(前年度 市長申立検討事案の適否 30 件(福祉総務課 14 件・介護福祉
	課 16 件)・保留1件、困難事例の検討1件)
	第1回4月8日(木)午前10時4分~11時50分 社協会議室
	出席 委員4人
	内容 市長申立事案の適否 3件(福祉総務課2件・介護福祉課1件)
	結果 適当 2 件 保留 1 件
	第2回5月13日(木)午前10時~11時8分 社協会議室
	出席 委員4人
	内容 市長申立検討事案の適否 1件(福祉総務課1件)
	困難事例の検討 1件(障害福祉課1件)
	結果 適1件 困難事例の検討1件
	第3回6月10日(木)午前10時~11時53分 社協会議室
	出席 委員4人
	内容 市長申立事案の適否 3 件
	(福祉総務課1件・介護福祉課1件・障害福祉課(1件)
	結果 適当 3 件
	第4回7月8日(木)午前10時~11時2分 社協会議室
	出席 委員 3 人
	内容 市長申立事案の適否 1 件(福祉総務課 1 件)
	結果 適当1件
	第5回9月9日(木)午前10時~10時39分 社協会議室
	出席 委員4人
	内容 市長申立事案の適否 1 件(福祉総務課 1 件)

事業または事項等 単位:円	事業内容及び成果の概要
	結果 適当1件
	第 6 回 10 月 14 日(木)午前 10 時~午後 0 時 5 分 社協会議室
	出席 委員4人
	内容 市長申立検討事案の適否 1 件(福祉総務課 1 件)
	困難事例の検討1件(介護福祉課1件)
	結果 適当1件
	第7回10月22日(金)午前10時5分~11時23分 わくわく健康プラザ集
	会室 1
	出席 委員4人
	内容 市長申立事案の適否 3 件(福祉総務課 3 件)
	結果 適当 2 件·保留 1 件
	第8回11月11日(木)午前10時~11時42分 社協会議室
	出席 委員4人
	内容 市長申立事案の適否 3 件(福祉総務課 2 件・介護福祉課 1 件)
	結果 適当3件
	第9回12月9日(木)午前10時~11時51分 社協会議室
	出席 委員4人
	内容 市長申立事案の適否 3 件(介護福祉課 2 件・障害福祉課 1 件)
	結果 適当3件
	第 10 回 12 月 10 日(金)午後 1 時半~3 時 23 分 社協会議室
	出席 委員4人
	内容 市長申立検討事案の適否 2 件(福祉総務課 1 件・介護福祉課 1 件)
	困難事例の検討 1 件(福祉総務課 1 件) 結果 適当 2 件
	第11回1月13日(木)午前10時~午後0時2分 社協会議室
	出席 委員4人
	 内容 市長申立事案の適否 4 件(福祉総務課 3 件・介護福祉課 1 件)
	結果 適当4件
	第 12 回 2 月 10 日(木)午前 10 時~11 時 19 分 オンライン
	出席 委員4人
	内容 市長申立事案の適否 2 件(福祉総務課 1 件・介護福祉課 1 件)
	結果 適当 2 件
	第 13 回 3 月 10 日(木)午前 10 時~11 時 24 分 オンライン
	出席 委員3人
	内容 市長申立事案の適否 3 件(福祉総務課 2 件・介護福祉課 1 件)
	結果 適当3件
	○専門職団体との調整
	成年後見人等候補者紹介 59件(前年度 57件/2件增)
	・法定後見人等候補者紹介依頼 54件(前年度 52件/2件増)
	内訳/弁護士 5 件·司法書士 32 件·社会福祉士 17 件
	(前年度 内訳/弁護士 10 件・司法書士 29 件・社会福祉士 13 件)

	事業内容及び成果の概要								
2 N/2011 -101-11 X (4 1 1 1 m 1 1	4月 5月 6月 7月 8月 9月								
		5件	1件	8件	1件	4件	3件		
		10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	2 件 8 件 6 件 5 件 4 件 7 件 ·任意後見人候補者紹介依頼 0 件(前年度 1 件/▲1 件)								
	·申立書類作成者紹介依頼 5 件(前年度 4 件/1 件増) 内訳/司法書士 5 件								
	・過言書作成支援者紹介依頼 0件(前年度0件)								
	「・通言音作成文族有格が依頼 O 件(削平度 O 件) ○社会貢献型後見人等の養成、育成、推薦								
	社会貢	献型後見丿	、等の養成語	講座修了者 (に対し、研修	多を行うなと	ご育成すると	と共に、	
	その中	から適性の	ある人を後	見人候補者	として推薦	する。			
	▶社会員	献型後見	人選考等検	討委員会(前年度 0 回])			
	第1回	12月17	日(金)午前	10 時~11	時 社協会	議室 出席	委員5人		
	内容	社会貢献	献型後見人	推薦対象案	件及び候補	者の選考に	こ関すること	_	
	▶社会員	貢献型後見.	人登録7人	、(前年度 9	人/▲2 从	()			
	▶社会賞	貢献型後見.	人候補者の	申立人への	推薦 1 個	牛(前年度()件)		
	▶社会員	貢献型後見.	人フォローフ	アップ研修(基礎講習修	了者対象)			
	※新型コロナウイルス感染症予防のため、中止。								
	▶7市社協・福祉公社(推進機関)合同市民後見人フォローアップ講習に係る事務								
	局会議(北多摩北部ブロックを中心に「社会貢献型後見人養成」を検討)								
	第1回7月5日(月)午後2時~3時半 参加人数1人								
	内容 令和2年度7市合同市民後見人等養成講習事業の振り返り、令和3年								
	度 7 市合同後見人等候補者フォローアップ講習事業、その他(意見交								
	換、情報提供等)								
	▶7市合同市民後見人等養成講習事業/基礎講習(隔年実施)								
	令和	2 年度実施	色のため基础	楚講習なし。	令和4年	度実施予定。	0		
	▶7市社	:協·福祉公	社(推進機	関)合同後	見人等候補	i 者フォロー	-アップ講習	習(隔年	
	実施)								
	合同後	見人等候補	着フォロー	アップ講習	(対象者 9	人)は、新雪	型コロナウイ	ルス感	
	染拡大	防止のため	、オンライン	で実施。					
	第1回	11月11日	日(木)午後	2 時~4 時	本市受講	者4人			
	講義	担当/『	東村山市社	協					
	第 2 回 11 月 29 日(月)午後 2 時~4 時 本市受講者 5 人								
	講義	担当/	小金井市社	協					
	第3回12月6日(月)午後2時~4時 本市受講者5人								
	講義 担当/小平市社協								
	第4回12月14日(火)午前10時~正午 本市受講者2人								
			武蔵野市福						
	第5回1月17日(月)午後2時~3時半本市受講者0人								
	事例検討(受任者向け) 担当/三鷹市								
	第6回1月26日(水)午前10時~11時半 本市受講者2人								
	講義	講義 担当/西東京市							

事業または事項等 単位:円	事業内容及び成果の概要
	第7回1月31日(月)午後2時~3時半 本市受講者3人
	実践報告・事例検討(未受任者向け) 担当/東久留米市
	○後見監督業務の実施
	社会貢献型後見人候補者の後見人等受任に伴い、法人後見監督業務を実施。
	·後見監督受任2件(平成30年11月~) 累計受任件数3件
	・報酬付与の申立て
	後見監督業務継続中につき、報酬付与申立てなし。
	○中核機関化に向けた調査・研究
	各種会議での情報収集
	○その他(関係機関の連絡会・研修等への職員参加)
	▶利用者支援区市町村連絡会
	第2回 2月25日(金)午後2時半~4時半 オンライン 参加人数1人
	▶東京都成年後見地域連携ネットワーク会議及び東京都成年後見制度推進機関連絡会
	11月1日(月)午後1時~5時 オンライン 参加人数1人
	▶成年後見制度利用促進基本計画に関する地域と家裁の連絡会
	第2回11月30日(火)午後2時~4時 オンライン 参加人数1人
	▶成年後見制度推進機関テーマ別研究会議
	第1回7月28日(水)午後2時~4時30分 オンライン 参加人数1人
	第2回12月8日(水)午後2時~4時30分 オンライン 参加人数1人
	▶東久留米市自立支援協議会
	第1回9月6日(月)書面開催
	▶東久留米市自立支援協議会 住みよいまちづくり部会
	第1回12月13日(月)午前10時~正午 参加人数1人
	▶家事関係機関と東京家庭裁判所との連絡協議会
	2月16日(水)午後1時半~4時半 オンライン 参加人数1人
	▶成年後見制度利用促進体制整備研修 応用研修 オンライン聴講
	1日目2月17日(木)午前9時50分~午後5時 参加人数1人
	2 日目 2 月 18 日(金)午前 10 時~午後 6 時 参加人数 1 人
	3 日目 2 月 21 日(月)午前 10 時~午後 3 時 45 分 参加人数 1 人
	▶成年後見制度推進機関職員フォローアップ研修
	第1回5月28日(金)~7月31日(土) オンライン聴講
	第2回12月2日(木)~3月31日(木) オンライン聴講
	▶第5回健康・暮らしの相談室
	10月28日(木)午後2時~4時 滝山団地1街区集会所 参加人数1人
	・事前会議 滝山地域安心つながり連絡会議出席
	第7回9月16日(木)午前10時半~ ダイニングカフェ滝山
 地域福祉権利擁護事業	 判断能力が不十分な高齢者・知的障がい者・精神障がい者に対し、福祉サービス
東社協受託金	の利用援助や日常的な金銭管理、書類預かりなどの援助を行うことにより、在宅
11,274,000	
【前年度 9,147,000】	契約締結能力の有無を確認した上で契約締結。契約締結後は、支援計画に基づ

事業または事項等 単位:円	事業内容及び成果の概要
2 Sicon Florid Mid. 1 To 14	いて生活支援員が援助を行う。平成 15 年度(平成 16 年 2 月 16 日)より東社協
	から委託を受け基幹社協となった。
	○契約件数 73件(前年度 73件/増減なし) 累計契約件数241件
	内訳 認知症高齢 54 人、精神障がい 12 人、知的障がい 6 人、その他 1 人
	(前年度 認知症高齢 52 人、精神障がい 14 人、知的障がい 6 人、
	その他1人)
	契約件数のうち生活保護受給者 43 件 58%(前年度 36 件/7件増)
	 ○新規契約件数 17 件(前年度 29 件/▲12 件)
	 内訳 認知症高齢 16 人、知的障がい 1 人
	 ○契約終了件数
	内訳 本人死亡 5 件、施設入所 2 件、成年後見制度への移行 9 件、
	本人申し出1件
	○生活支援員 37 人(前年度 38 人/▲1 人)
	○相談·訪問状況 延べ6,549件(前年度6,102件/447件増)
	※詳細は、57 ページ別表参照
	○ケース会議・サービス担当者会議等出席 20 件(前年度 20 件/増減なし)
	○利用者の成年後見制度に関する支援
	・成年後見制度への移行 9件(前年度7件/2件増)
	·制度説明(随時)
	○生活支援員の公募
	・「ひがしくるめ社協だより」「広報ひがしくるめ」掲載 チラシ配布等
	- 事業説明会 ①9月30日(木)午前10時~11時半 参加人数2人
	②10月6日(水)午後2時~3時半 参加人数4人
	(前年度 参加人数 計 11 人)
	・新規生活支援員選考
	第1次(書類) 応募者2人 合格者2人(前年度 応募者7人 合格者7人)
	第 2 次選考(面接) 11 月 9 日(火)
	応募者 2 人 合格者 2 人(前年度 応募者 7 人 合格者 6 人)
	○新任生活支援員内部研修会
	4月12日(月)午前10時~午後4時参加人数2人(社会貢献型後見人)
	12月6日(月)午前10時~午後4時 参加人数2人
	○東京都社会福祉協議会 新任生活支援員研修会
	8月5日(木)~3月31日(木) 動画配信/135分 参加人数3人
	内容 講義 1「地域福祉権利擁護事業とは」、講義 2「生活支援員の役割と具
	体的業務」、活動報告「生活支援員の具体的な活動」
	10月21日(木)午後2時~4時 オンライン/ 参加人数4人
	○東京都社会福祉協議会 現任生活支援員研修
	4月6日(火)~6月30日(水) 動画配信/66分 参加人数1名(令和2年度
	の動画配信期間延長)
	内容 講義「意思や意向を尊重した支援のあり方とは」
	10月29日(金)~3月31日(木) 動画配信/100分 参加人数18人

事業または事項等 単位:円	事業内容及び成果の概要
	内容 講義「知的障害者支援について基本的知識を理解する」
	○生活支援員ミーティング
	新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催なし。
	○東京都社会福祉協議会他 専門員研修
	·東京都社会福祉協議会 専門員·業務担当研修
	6月22(火)~8月31日(火) 動画配信/174分 参加人数1人
	内容 「地域福祉権利擁護事業にかかわる法律の基礎知識」
	8月17日(火)午後1時半~5時 オンライン 参加人数1人
	内容 「介護保険制度の理解~関係機関の役割を知り、チームで利用者を支
	えるために~」
	1月18日(火)午後1時半~4時半 オンライン 参加人数1人
	内容 「モニタリングについて」
	2月1日(火)午後1時半~5時 オンライン 参加人数1人(事例提供)
	内容「事例検討」
	○東京都社会福祉協議会 センター長会議
	11月18日(木)午前10時~正午 オンライン 参加人数1人
	○東京都社会福祉協議会 業務連絡会
	6月28日(月)午後2時~4時 オンライン 参加人数1人
	2月4日(金)午後2時~4時半 オンライン 参加人数1人
	○周知・広報活動
	社協ホームページに掲載
	市内公共施設へのパンフレット布置
	○北多摩北部ブロック社会福祉協議会権利擁護事業業務連絡会
	第1回 5月24日(月)午後2時~4時 参加人数1人
	第2回7月30日(金)午後2時~3時22分参加人数1人
	第 3 回 12 月 3 日(金)午後 1 時 45 分~3 時 15 分 参加人数 1 人
	第 4 回 2 月 25 日(金)午後 2 時~2 時 55 分 参加人数 1 人
	○その他
	さいわい福祉センター実習生への制度説明
	10月15日(金)午後2時半~3時10分 実習生1人・センター職員1人
ファミリー・サポート・センター	 平成 14 年 7 月より市からの受託事業として、実施している子育て支援事業。子
事業	育ての手伝いをしたいサポート会員と、手助けをしてほしいファミリー会員からな
9,296,712 (市 9,296,712)	る会員相互援助事業。 ※実績は、58ページ別表参照
【前年度 9,417,320】	○事業説明会の開催
	○ ドベルル プス ニ ドル 本事業への入会・登録は、説明会に参加し、主旨・内容等に賛同された後に行う。
	参加希望者の利便を考慮して土曜日にも開催。
	令和 2 年度に引き続き、新型コロナウイルス感染防止のため、事前予約制とし、短
	時間での説明を行い、託児を取りやめた。また、希望する参加者には個別で事業
	説明を行った。
	·開催回数 通常開催 11 回、個別 85 回 計 108 回(前年度 30 回/78 回増)

	車業中やなが出り極重
事業または事項等 単位:円 	事業内容及び成果の概要
	・参加人数 151 人/利用希望 130 人・協力希望 21 人(うち両方希望 0 人) (前年度 92 人/59 人増)
	○会員に対する講習会等の開催
	▶サポート会員講習会
	サポート活動を行うにあたり最低限の知識を持ってもらうことを目的として、本会
	主催の講習会を受講する。平成30年度よりこれまで11時間だった講習時間を
	24 時間とした。10 月に市内全域にチラシの新聞折り込みを行い、センター及び
	講習会の開催を周知し、感染予防対策に努めて実施した。
	第1回 6月17日、21日、23日、25日、28日、30日、7月2日
	第2回 11月9日、11日、16日、18日、24日、26日、29日
	6月12人、11月9人 計21人修了(前年度11人修了/10人増)
	○交流会
	▶ファミサポ·カフェ オンライン(サポート会員交流会)
	8月20日(金)午前11時~午後0時半 オンライン
	サポート会員 4 人、サブリーダー1 人、事務局 2 人 計7人
	8月27日(金)午後2時~3時 オンライン(LINE)
	サポート会員 4 人、サブリーダー1 人、事務局 2 人 計7人
	8月30日(月)午後2時~3時 オンライン(LINE)
	サポート会員2人、サブリーダー1人、事務局2人 計5人
	延べ参加人数 サポート会員 10 人、サブリーダー3 人、事務局 6 人 計 19 人
	▶10月 会員交流会 ※新型コロナウイルス感染拡大のため中止
	○アドバイザー及びサブリーダー連絡調整会議の開催
	6月2日(水)午後1時半~3時 サブリーダー3人、事務局2人
	○アドバイザー研修
	▶10月29日(金)午前11時半~午後3時半 オンライン参加
	女性労働協会 令和3年度ファミリーサポートネットワーク事業 全国アドバイ
	ザー講習会・交流会
	▶10月20日(水)午後1時半~4時半 サンライフ練馬
	リスクマネジメント研修
	▶12月15日(水) オンライン参加
	女性労働協会主催 令和 3 年度リスクマネジメント実践セミナー
	▶1月21日(金) 福生市もくせい会館 ※新型コロナ感染拡大のため中止
	近隣市アドバイザー研修・交流会
	▶6月24日(木)~12月20日(月) オンライン参加
	外国人対応の基礎知識を学ぼう ※再掲(54 ページ「内部研修」)
	○協力者研修
	▶サポート会員講習会受講
	平成30年度より受講科目が増えたサポート会員講習会を、登録済みのサポート
	会員のフォローアップ研修にあてた。
	第1回(6月) 参加人数 10人
	第2回(11 月) 参加人数 12 人

事業または事項等 単位:円	事業内容及び成果の概要		
	○会員通信「クル・メル通信」の発行		
	·第 41 号 5 月 17 日(月)		
	*全会員向けに会員登録更新手続きの案内。更新届用紙を同封。		
	*ファミリー会員にコロナ禍での困りごと等に関するアンケートを同封。		
	*サポート会員・両方会員にサポート会員講習会の案内を同封。		
	·第 42 号 10 月 1 日(金)		
	*全会員向けにファミリー会員アンケートの結果を報告。		
	*サポート会員・両方会員にサポート会員講習会の案内を同封。		
	·第 43 号 12 月 24 日(金)		
	*全会員向けにサポート会員講習会の報告。		
	*子育て情報・Webままっぷの紹介。		
	○活動実績		
	新型コロナウイルス感染防止に伴う緊急事態宣言の実施及び期間延長があった		
	が、依頼件数は増加した。また、高齢で基礎疾患のある方など、新型コロナウイル		
	ス感染の重症化リスクが高いサポート会員に緊急事態宣言中の活動を極力自粛		
	いただくよう案内し、個別の相談にて意思を確認し、会員相互の了解の基で活動		
	を実施した。		
	·登録者数 合計 702 人(前年度末 716 人/▲14 人)		
	ファミリー会員 526 人(前年度末 542 人/▲16 人)		
	サポート会員 164人(前年度末 172人/▲8人)		
	うち両方会員 4人(前年度末5人/▲1人)		
	サポート講習会未受講待機者 12 人		
	※両方会員はファミリー会員・サポート会員それぞれに登録しており、その人		
	数に含まれる。		
	·活動依頼件数 1,901 件(前年度末 1,715 件/186 件増)		
	·活動件数 1,274 件(前年度末 1,166 件/108 件増)		
	·活動割合 67.0%(前年度末 68.0%)		
障がい児(者)作品展	障がいを持つ人持たない人の相互理解の推進を目的に、市内障がい児(者)を対		
240,000	象に、施設・学校等で製作した絵画や工作陶器などの創作品を発表。前年度に引		
【前年度 160,000】	き続き市内障がい者団体である手をつなぐ親の会に事業運営全般を委託した。昭		
	和 56(1981)年、国際障害者年より開始。昨年に引き続きコロナ感染拡大の影響		
	で、オンラインで実施した。		
	期間 11月15日(月)~1月31日(日)		
	会場 YouTube		
	動画再生数 約 2,600 回(前年度 4,386 回/▲1,786 回)		
	参加団体 22 団体(学校3、施設17、団体2)(前年度18 団体/4 団体増)		
	作品出展者数 22 団体 約 500 人 (前年度 18 団体 300 人/4 団体増		
	200 人増)		
	ボランティア数 延べ 0人(前年度 0人)※会場実施を中止したため		
	広報・PR 広報ひがしくるめ 12月 15日号、社協だより 9月 1日号、12月 1		

事業または事項等 単位:円	事業内容及び成果の概要		
学来よべは学供守 単位·円	日号、本会ホームページ、Facebook、Twitter、LINE、FMTokyo854 く		
	るめラ		
	るめノ 運営 東久留米市手をつなぐ親の会		
	連呂 泉久留木印子をりなく税の会		
在宅福祉サービス事業	 高齢者や障がい者、ひとり親家庭や産前産後の方(利用会員)に、登録した市民		
(ふれあいサービス)	(協力会員)が、有償で家事援助サービスを提供する。新型コロナウイルス感染拡		
(3,4,00)	大防止のため、緊急事態宣言の期間は活動を中止した。		
	○新規協力会員説明資料送付 15 人(前年度説明会 7 人)		
	協力会員として活動を希望する方に対し個別説明		
	○広報		
	○□ + × · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
	月 21 日発行		
	^{7, 21} 日光1 · 市報 6 月 1 日号、10 月 1 日号、3 月 1 日号		
	・社協だより4月1日号、9月1日号		
	・本会公式ホームページ、Facebook、Twitter		
	○利用料金減額措置		
	○利用料並減額指置 市民税非課税世帯及び生活保護受給世帯について、申請により利用料金減額措		
	置(1時間あたり100円を助成)を実施。		
	直(1 時間あたり100 円を助成)を実施。 利用料減額分助成 3 人 10,400 円(前年度 8,600 円/1,800 円増)		
	○協力会員 フォローアップ研修「食品ロスの問題」参加 23 人		
	○協力会員 フォローアック研修「良品ロスの问題」 参加 25 人 日時 10月18日(月)~11月30日(火)		
	会場 各協力会員宅または社協会議室(動画視聴)		
	- 云場 合励力云貝七よたは仏励云議至(期回祝場) - ○調査		
	→ ·協力会員 対象 51 人、回答 37 人、回答率 73%		
	期間 9月21日(火)~10月15日(金)		
	内容 アンケート調査(緊急事態宣言中の活動、LINE の利用について)		
	・利用会員 対象 利用中の会員 30 人、回答 30 人、回答率 100%		
	期間 9月28日(火)~10月1日(金)		
	内容 電話聞き取り調査(緊急事態宣言中の利用について)		
	○活動実績 ※詳細は、63 ページ別表参照		
	▶登録者(3月31日現在)		
	·協力会員 52 人(前年度 59 人/▲7 人) 新規登録 4 人		
	·利用会員 67 人(前年度 75 人/▲8 人) 新規登録 12 人		
	▶利用回数 1,025 回(前年度 1,379 回/▲354 件)		
	▶延べ利用者人数 263 人(前年度 369 人/▲106 人)		
	▶利用内容別延べ提供回数 2,555 回(前年度 2,512 回/43 回増) ▶ 切れる号の活動字数 102 人(前年度 252 人/▲60 人)		
	▶協力会員の活動実数 193 人(前年度 253 人/▲60 人)		
	1か月平均活動実数 16 人(前年度 21 人/▲5 人)		
	▶活動時間 ※活動時間		
	総活動時間数 1,344 時間 (前年度 1,847.5 時間 /▲503.5 時間)		
	平日 1,160 時間(前年度 1,638.5 時間/▲478.5 時間)		

事業または事項等 単位:円	事業内容及び成果の概要			
	時間外 184 時間(前年度 209 時間/▲25 時間)			
	1か月平均活動時間 112 時間(前年度 154 時間/▲42 時間)			
	▶協力会員への謝金(利用会員から協力会員へ直接支払い分)			
	・協力員謝金 1,112,000円(前年度1,519,800円/▲407,800円) 謝金単価 平日(月~土曜日、午前9時~午後5時)1時間800円 時間外(平日以外)1時間1,000円 ▶緊急事態宣言による活動中止期間 ・4月25日(日)~6月20日(日)			
	・7月12日(月)~9月30日(木)			
地区センター管理運営	 平成 18 年度から、東久留米市より地区センターの指定管理者として受任。令和 3			

幡町・南町地区センター) 市委託料 56,039,000 1,776,926 円)

(中央町・浅間町・野火止・八 | 年度から新たに5年間継続となる。

市内在住の 60 歳以上の利用証をお持ちの方に、無料で老人集会室・娯楽室(八 幡町除く)・風呂(正午から午後4時まで、中央町除く)等の利用ができる老人福祉 ※返還金含む(コロナ休館分 | センターを楽しんでいただく福祉施設及び会議室等の貸し出しなどの管理・運営 を行った。なお、令和3年度も前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大予 【前年度 51,850,660】 防のため風呂の休止や囲碁などの貸し出し禁止など、一部の利用を制限した運営 となった。

地区センター開館日数 281 日

- ※浅間町のみ279日(選挙会場として使用のため)
- ○老人福祉センター利用者数 (前年度 1,437 人/853 人増)

中央町	1,753人	南町	207 人
浅間町	180 人	野火止	125 人
八幡町	25 人	合 計	2,290 人

○利用証発行数(前年度 11 件/41 件増)

中央町	31 件	南町	3 件
浅間町	14 件	野火止	3 件
八幡町	1件	合 計	52 件

- ○会議室等の管理・運営
- ▶利用件数(前年度 2,995 件/1,598 件増)

中央町	1,747 件	南町	292 件
浅間町	416 件	野火止	1,358件
八幡町	780 件	合 計	4,593件

▶使用料徴収状況 (前年度 1,381 件 951,030 円/81 件増 3,380 円増)

施設名	件 数	使用料収入	還付金額	差引使用料収入
中央町	798 件	476,420円	4,720 円	471,700円
浅間町	116 件	79,700円	200円	79,500円
八幡町	237 件	150,990円	700円	150,290円
南町	99件	109,190円	0 円	109,190円
野火止	212 件	138,110円	9,620円	128,490円

事業または事項等 単位:円	事業内容及び成果の概要		
	合 計 1,462件 954,410円 15,240円 939,170円		
	※還付金は、コロナ感染拡大防止に伴う使用料還付請求に基づくもの		
	○その他、具体的な取り組み		
	▶地区センターにおけるイベントの開催等		
	・スマホ講座(5 地区センター各 1 回) 参加者:57 人		
	・わくわくすこやか体操(教室 3 回、1 月から中央町Cで週 5 日実施)		
	参加者:平均 10 人~15 人程度		
	▶利用団体の作品等の展示 「地区センターぎゃらりー」		
	延べ利用件数:39 団体(中央町:19 団体、野火止:20 団体)		
	▶地区センター通信の発行		
	発行回数:2回(10月・3月)※中央町地区センターのみ		
	▶備品等の貸し出し		
	会議室等の利用者に、ラジカセやカラオケ機などの備品の貸し出し及び管理・点		
	検などを随時実施している。また、本会の印刷機を利用団体等に貸し出してい		
	る(中央町地区センターのみ)。		
	▶飲料品自動販売機の設置 び四本の医療は供売を含むない。 なった ***********************************		
	利用者の便宜に供するため各地区センターに自動販売機1台を設置。		
	※詳細は、49 ページ「10収益事業」参照		
	▶苦情·要望等について		
	施設の管理運営に関するご意見をお寄せいただき、できる限りの改善を図った。また昨年度に引き続き、例年 3 月に実施している普段利用している方との		
	トを実施した。		
	- 「		
	事業の報告や意見交換などを目的とした会議。市担当課長・係長・主任と本会		
	事務局次長・担当主査で構成。9月より毎月開催となった。		
	開催日 5月13日、7月7日、9月15日、10月27日、12月7日、1月19日		
	2月16日、3月16日 全8回		
	▶その他の関連事項について		
	電力消費の節減のため、施設の一部で消灯を実施している。		
社協塾	55歳以上の市民の方を対象に、市内3地区センターで趣味の拡充・自立自助の		
【前年度 0】	促進、健康増進など生きがいをもてる生活のきっかけづくりとなる各種講座を実		
	施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。		
	一方で、受講者から自主活動として開催する希望があった、比較的飛沫拡散の少		
	ない講座(文学・水彩色えんぴつ画)は、回数を月2回から1回に減らすなどの対策		
	を図った上で、会場確保などの支援をした。		
いきいき長寿大会(市共催)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止(前年度も中止)		

事業または事項等 単位:円

事業内容及び成果の概要

車いす貸し出し

16,170

【前年度 14,960】

本会所有の車いす(市民からの寄付)を、会員に無料で短期間貸し出している。

- ○車いす貸し出し ※保有台数 54 台(うち令和 3 年度 3 台寄贈)
- ・貸出期間 貸出開始日の属する年度で90日間まで
- ·貸出件数件 308件(前年度83件/225件增)

4月	5月	6月	7月	8月	9月
12 件	9件	28件	36件	30件	24 件
10月	11月	12月	1月	2月	3月
45件	43件	37件	10 件	24 件	10 件

○車いす点検

貸し出し用の車いすを年に1回点検し、必要な修理を実施している。

(点検、整備代 16,170 円)

○車いす譲渡

耐用年数が経過した貸し出し用車いすを本会会員に 9 月社協だよりにて募集し、 譲渡した(10 月)。

譲渡希望申請者数 11 件、譲渡台数 6 台(前年度 3 台/3 台增)

交通・労務災害遺児サポート 事業

> 250,000 【前年度 150,000】

○交通遺児等入学等準備金

支給額 240,000 円(前年度 120,000 円/120,000 円増)

交通事故及び労務災害により、父母のどちらか、または両親を亡くされた方に、入 学準備金を支給することにより、就学意欲と生活意欲を助成することを目的とす る。対象者は市内在住の父母のどちらか、または両親を交通事故または労務災害 により失った方で、小・中・高等学校(中学を卒業後1年以上の技能修得のための 各種学校も含む)へ入学する者とする。ただし、生活保護を受けている方、父母が 再婚されている方を除く。支給金額(子どもひとり)小学校 48,000 円・中学校 54,000円・高等学校120,000円

- ·申請件数 2 件 *高等学校入学(交通遺児 0 件·労務災害遺児 2 件)
- ·決定件数 2 件 * 高等学校入学(前年度 1 件/1 件增)
- ○進級祝い金支給 支給額 10,000 円(前年度 30,000 円/▲20,000 円) 交通遺児奨学基金の有効活用を進めるため、交通・労務災害遺児に対し、進級祝い金支給を支給する。ただし、生活保護を受けている方、父母が再婚されている方を除く。進級祝い金の対象は、新たに小学生 2.3.4.5.6 年と中学生 2.3 年になる児童、生徒で、支給する祝い金額は子どもひとり 10,000 円。
- ·申請件数1件(労務災害遺児1件)
- ·決定件数 1 件 *小学校 6 年生進級(前年度 3 件/ \blacktriangle 2 件)

低所得世帯等への貸付 事業の実施

生活福祉資金貸付

事務受託金 16,552,186

※うち特例貸付事務委託分

金融機関や他の公的資金制度からの借り入れが困難な所得の少ない世帯などに資金を貸し付け、その経済的自立と生活安定を図ることを目的とした「生活福祉資金貸付制度」を東京都社会福祉協議会から委託を受けて実施している。今年度は、新型コロナウイルス感染症の急拡大により、令和 2 年度につづき例年実施している事業のほかに、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて減収、失業等と

事業または事項等 単位:円 事業内容及び成果の概要 10,123,186 | なった世帯を対象とした「緊急小口資金特例貸付」、「総合支援資金特例貸付(初 (返還金1,296,814円含む) 回、延長、再貸付)」の申請受付窓口を担った。また、急な出費等による生活困窮 【前年度 15,868,000】 状態にある世帯への支援として2万円以内の資金を貸し付ける「応急小口資金貸 付事業」も行っている。 ○福祉資金/福祉費、教育支援資金/教育支援費·就学支度費 ▶相談件数 709件(前年度 768件/▲59件)※電話 648件、来所 61件 ▶貸付件数 6件 教育支援資金3件、生活必需品3件(生保エアコン) (前年度7件 教育支援資金4件、生活必需品(生保エアコン)3件/▲1件) ▶住民票請求 0件(前年度0件/増減なし) ▶住所・死亡・債務分割・辞退等の変更手続き 1件(前年度6件/▲5件) ▶事務移管 0件(前年度1件/▲1件) ▶償還免除申請手続き 0件(前年度0件) ▶償還猶予 0件(前年度2件/▲2件) ▶償還完了数 11件(前年度 10件/1件増) ○福祉資金/緊急小口資金(新型コロナウイルス感染症の影響による減収、失業 世帯向け特例貸付を含む) 低所得世帯で緊急的かつ一時的に生計の維持が困難になった世帯を対象に貸し 付けを行う。貸付限度額10万円。償還期間12か月。連帯保証人不要。※新型コ ロナウイルス感染症の影響による減収、失業世帯向け特例貸付については、要件 を満たす場合、貸付上限20万円。償還期間は24か月。据置期間は12か月か らさらに 1 年間延長可能で、令和3年度若しくは4年度の世帯の課税状況によっ て、一括免除となる場合があるとしている。 ▶相談件数 1,302 件(前年度 4,055 件/ \blacktriangle 2,753 件) ※電話 1,139 件、来所 163 件 **▶**貸付件数 433件(前年度 1,039件/▲606件) ▶住民票請求 0件(前年度0件) ▶住所·死亡·債務分割·辞退等の変更手続き 0件(前年度0件) ▶償還・延滯利子免除申請手続き 0件(前年度0件) ▶償還完了 1件(前年度 0 件/1 件增) ○総合支援資金/生活支援費(新型コロナウイルス感染症の影響による減収、失 業世帯向け特例貸付を含む)、住宅入居費、一時生活再建費 生計中心者の失業や収入の低下により、生活の維持が困難になった世帯への生 活費の貸し付けを行う。 ▶相談件数 3,517件(前年度 4,949件/▲1,432件) ※電話 3,017 件、来所 500 件 ▶貸付件数 907件(前年度 947件/▲40件) ※総合初回 416 件、総合再貸付 491 件 ▶住民票請求 0件(前年度0件) ▶住所·死亡·債務分割·辞退等の変更手続き 6件(前年度6件)

▶事務移管 0件(前年度 0件)▶償還猶予 0件(前年度 0件)

事業または事項等 単位:円	事業内容及び成果の概要
	▶償還・延滞利子免除手続き 0件(前年度0件)
	▶償還完了 0件(前年度0件)
	○不動産担保型生活資金(旧・長期生活支援資金貸付制度)
	現在居住している自己所有の不動産に将来にわたって住み続けることを希望する
	高齢者世帯に対し、その不動産を担保として生活資金を貸し付ける制度。
	▶相談件数 14 件(前年度 18 件/▲4 件)
	▶貸付件数 0件(前年度0件) ※継続送金中案件1件有り
	▶償還・延滞利子免除手続き 0件(前年度0件)
	▶償還完了数 0件(前年度0件)
	○要保護世帯向け不動産担保型生活資金
	平成 19 年度より自宅を所有する要保護状態の高齢者世帯に対し、自宅を担保に
	生活資金を貸し付ける制度。
	▶相談件数 0件(前年度1件/▲1件)
	▶事前審査 0件(前年度0件)
	▶貸付件数 0件(前年度0件)
 臨時特例つなぎ資金	 平成 21 年 10 月 26 日より住居がない離職者が公的給付・貸付を受けるまでの
事務受託金	生活費を貸し付ける制度。貸付限度額 10 万円。償還期間 1 年以内。無利子。連
200,000	带保証人不要。
【前年度 200,000】	► 相談件数 0件(前年度 0件)
	▶貸付件数 0件(前年度0件)
ひとり親家庭高等職業訓練	 都母子父子家庭高等職業訓練促進給付金の支給を受けるひとり親家庭の親に対
促進資金貸付事業	 し、ひとり親家庭高等職業訓練促進資金を貸し付け、修学を容易にすることによ
(申し込み手続き事務)	 り、資格取得を促進し、ひとり親家庭の親の自立の促進を図るための貸付事業の
事業受託金	 申し込み手続き事務を行う(入学準備金・就職準備金)。
5,000	▶申請問い合せ件数 4件(前年度4件)
	▶申請受付件数 1件(前年度2件/▲1件)
	▶借用書等受付 1件(前年度2件/▲1件)
応急小口資金貸付事業	本会独自事業として低所得世帯の緊急出費による生活困窮状態を援護するた
	め、小口資金(20,000 円以内)を貸し付ける制度。貸し付け時に民生委員による
	 訪問を行い、居住地確認と生活相談をしている。
	▶相談件数 78件(前年度 168件/▲90件)
	▶貸付件数 2件(前年度 13件/▲11件)
	▶貸付金額 30,000円(前年度196,000円/▲166,000円)
	▶償還金額 17,000円(前年度 259,000円/▲242,000円)
	内訳 当年度 17,000 円 過年度 0 円
	▶償還率 56.6%(前年度 86.2%) ※当年度貸付金に対する当年度償還分
	▶貸付資金残額 373,900円(前年度 386,900円/▲13,000円)
	※繰入金 0円(前年度0円)

事業または事項等 単位:円	重業内容	及び成果の概要	
サ木の八のサ次寸 平世・口	事業内容及び成果の概要 ▶償還免除 0件0円(前年度0件)		
	▶未償還残額 986,600 円(前年度 973,600 円/13,000 円)		
	→事務費分繰越金 98,150 円(前年度 101,119 円/▲2,969 円)		
	※繰入金 0円(前年度)		
8 会員の拡大	○会員・会費の状況(前年度▲1,27	79 □ ▲1,324,000 円)	
会員・会費の状況		3 年度 2年度	
3,462,300	山剱	<u>金額</u> 口数 金額	
【前年度 4,786,300】		2,510,300 3,549 3,682,300	
	特別会員 5,000 円以上 132	952,000 157 1,104,000	
	合 計 2,427	7 3,462,300 3,706 4,786,300	
	·新規会員数 64 件 82,000 円		
	(前年度 75 件 87,000 円/▲11	件▲5,000円)	
	·退会会員数 270 件 297,000 円		
	(前年度 250 件 294,000 円/┛	▲20件▲3,000円)	
会員増強運動		染症拡大防止のため秋(9月~11月)に会員	
933,349		いては、新型コロナウイルス感染症の影響に	
【前年度 375,751】	より協力員による集金を中止し、会員		
	(前年度 375,751 円/557,598 円		
	· 增強期間 9月15日~11月30		
	・会員システム更新等業務委託費 13		
	(前年度 121,037 円/11,357 円		
	·会費振込手数料 325,844 円(前年 ·通信運搬費 475,111 円(前年度 19		
	(官製はがき・切手 65,016 円、会)		
	(日表はから・別子 00,010 円、云	貝化化·依根 410,055 □/	
協力員の集い	新型コロナウイルス感染症の影響によ	くり、協力員による会費集金を休止とした。	
5,481	協力員あて会費集金休止のお知らせ		
【前年度 25,830】		,, ,, , ,,,,	
,			
協力員会費集金事務手数料	新型コロナウイルス感染症の影響によ	り休止	
0	協力員87人(前年度84人/3人	曽)	
【前年度 255,550】			
会員情報誌発行	地域が見える東久留米市社協会員情	報誌 いきいき ち・い・き	
158,400	平成 21 年度より、身近な地域福祉情報をわかりやすく多世代の市民に提供するこ		
【前年度 158,400】	とで地域福祉活動への賛同者を増やし、活動を活性化することを目的に発行。		
広告料収入 120,000	※令和 3 年度は、令和 2 年度に引き続き、会員増強期間を9月~11月に変更		
【前年度 140,000】	したことに伴い発行月が9月(例年は5月~7月)となった。		
	·発行日·部数 9月15日·発行部	数:4,500 部(前年度 4,500 部)	

事業または事項等 単位:円	事業内容及び成果の概要
	・規格 A4 判 8 学 左開き(前年度 A4 判 8 学)
	·印刷費 158,400 円(前年度 158,400 円/同額)
	·広告料収入 6 件 120,000 円(前年度 7 件 140,000 円/▲20,000 円)
社会福祉協議会研修会	新任民生委員・児童委員を対象に社協について説明する機会として毎年開催して
	いたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。
協力員募集・活動説明会	会員会費は、毎年減少していることから協力員増員による新規会員への加入促進
	を図り、市民への社協周知と会員拡大を目的に、活動説明会を開催予定としてい
	たが、新型コロナウイルス感染症による影響で中止した。
9 財政基盤の強化	○一般寄付
寄付金	合計73件 2,603,652円(前年度109件 2,099,944円/▲36件503,708円増)
2,948,531	
【前年度 2,474,888】	合計 10 件 344,879 円(前年度 8 件 374,944 円/2 件増▲30,065 円)
	・車いす新品 1件2台(65,000円)
	・子ども食堂等への支援 4件(244,811円)
	・ボランティアセンター 1件(12,000円)
	・子どもたちのために 1件(12,000円)
	·JCB ギフト券 1件(5,000円)
	·郵券 1件(4,568円)
	・テレホンカード 1件(1,500円)
	○物品寄付 合計 20 件
	·東久留米市家庭廃棄収集袋各種(未使用 116 枚)、自転車(未使用 3 台)、使用
	済み切手(多数)、手作りアクリルたわし(230 枚)、筆記具(未使用多数)、バスタ
	オル(未使用 10 枚)、フェイスタオル(未使用 103 枚)、無洗米(5 kg×12 袋、3 kg
	×21 袋)、碁盤 (中古 5 台)、碁石(中古 4 箱)、将棋盤(中古 5 台)、駒(中古 6
	箱)、麻雀(中古 1 セット)、シルバーカー(中古 1 台)、映画上映オリジナルグッズ、
	手作り小物(多数)、2022 年カレンダー(42 個)、2022 年手帳(3 冊)、マウスパ
	ッド(未使用7個)、車いす(中古1台)、災害対策用備蓄品(未開封82箱)、白杖
	(中古 1 本)、ラジカセ・文学 CD(中古 1 セット)、歩行用杖(中古 2 本)、リハビリ
	シューズ(新品1足)
東久留米市補助金	○東久留米市より運営費(職員人件費・事業費)補助 54,394,000 円
54,394,000	(前年度 54,644,000 円/前年度▲250,000 円) ※四半期毎に交付
【前年度 54,644,000】	○東京都福祉改革推進事業補助金
	・ミニデイホーム支援事業 150,000円(前年度 400,000円/▲250,000円)
不要入れ歯リサイクル	市内 3 か所にリサイクルボックスを設置。NPO法人日本入れ歯リサイクル協会が
40,035	回収した不要入れ歯に含まれる金属をリサイクルして得た手数料(「貴金属スクラッ
【前年度 57,119】	プ」「貴金属」の代価の40%)が収入となる。平成26年7月31日から回収開始。
[11] 一汉 [1] [1]	

事業または事項等 単位:円	事業内容及び成果の概要
	・設置場所 東久留米市役所1階屋内広場、わくわく健康プラザ1階
	中央町地区センター
	・回収結果 令和 2 年 11 月 26 日~令和 3 年 11 月 19 日
	入れ歯、宝飾品 630g (前回 1,472g)
	手数料収益額 40,035 円(前年度 57,119 円/▲17,084 円)
10 収益事業	 平成 22 年 4 月より、指定管理者として市内 5 地区センター(中央町・浅間町・野
自動販売機設置	大成 22 年 5 万 8 5 1 1 1 1 1 2 1 2 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1
実質収益 168,389	主財源の確保を図ることから、平成 31 年 4 月より収益事業として位置づけた。な
【前年度 140,574】	上別派の確保を囚ることがら、中成 31 中 4 月より収益事業として位置 りけた。な お、設置する自動販売機は、災害が発生した際に支援物資として飲料の提供がで
社会福祉事業繰入金	お、設直する自動販売機は、炎音が光生した際に又援物員として飲料の提供がで きる機種とした。
168,000	○設置場所:市内 6 か所(台)
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
【前年度 137,000】	・5 地区センター(中央町・浅間町・野火止・八幡町・南町)
	・富士ヶ丘自治会倉庫前(本町二丁目・令和元年 10 月 1 日設置)
	○手数料収益・その他の収益 315,509 円…A(収益)
	(前年度 270,955 円/44,554 円増)
	○電気料金·租税公課·減価償却費 154,808 円…B(費用)
	(前年度 130,381 円/10,427 円増)※実質収益(A-B)
	│○事業区分間繰入金費用 168,000 円(前年度 137,000 円/31,000 円増)
11 法人運営	 理事定数 15 名(任期2年) ※7 月 12 日 第 1 回(定時)評議員会後改選
四事人	第 1 回 6 月 24 日(木) 理事総数 14 名:出席 13 人·監事 1 人
理事会	○報告事項
	(1)会長の職務執行状況報告(令和3年2月19日~6月15日)
	(2)令和2年度監査報告
	(3)新型コロナウイルス感染症に関する対応
	○議 案
	(1)人事案件
	 議案第1号 役員候補者の承認
	 (2)令和 2 年度事業報告及び決算
	議案第3号 令和2年度計算関係書類及び財産目録
	(3)令和3年度資金収支補正予算
	議案第4号 令和3年度社会福祉事業区分地域福祉推進拠点区分資金収支
	補正予算案(第1号)の同意
	(4)評議員会の招集事項
	(生)
	第 2 回 7 月 12 日(万)
	○職
	議案第6号 会長、副会長の選定

事業または事項等 単位:円	事業内容及び成果の概要
	議案第7号 評議員の選任・解任委員会委員の選任
	議案第8号 評議員選任候補者の推薦
	議案第9号 組織財政部会部会員の選任
	議案第 10 号 懲戒審査委員会委員の選任
	第 3 回 9 月 28 日(火) 理事総数 15 名:出席 14 人·監事 2 人
	○報告事項
	 (1)会長の職務執行状況報告(令和 3 年6月 16 日~9月 17 日)
	(2)令和3年度会員増強運動の実施
	(3)法人認可 50 周年記念事業
	(4)新型コロナウイルス感染症に関する対応
	○議 案
	(1)被表彰者等の審査
	議案第 11 号 令和 3 年度被表彰者及び法人認可 50 周年記念被表彰者の推
	せん
	(2)規程改定
	議案第 12 号 嘱託職員の賃金、期末手当等に関する規程の一部改正
	第4回3月4日(金) 理事総数15名:出席13人·監事2人
	○報告事項
	(1)会長の職務執行状況報告(令和3年9月17日~令和4年2月22日)
	(2)部会·委員会報告
	○議 案
	(1)規程改正
	議案第 13 号 表彰状等の贈呈基準の一部改正
	議案第 14 号 嘱託職員の賃金、期末手当等に関する規程の一部改正
	(2)令和3年度資金収支補正予算
	議案第 15 号 令和 3 年度社会福祉事業区分地域福祉推進拠点区分資金収
	支補正予算案(第2次)
	議案第 16 号 令和 3 年度社会福祉事業区分歳末たすけあい運動拠点区分資
	金収支補正予算案(第2次)
	議案第17号 令和3年度公益事業区分その他の公益事業拠点区分資金収支
	補正予算案(第 2 次)
	(4)令和4年度事業計画及び資金収支予算
	議案第 18 号 令和 4 年度事業計画案
	議案第19号 令和4年度社会福祉事業区分資金収支予算案
	議案第20号 令和4年度公益事業区分資金収支予算案
	議案第 21 号 令和 4 年度収益事業区分資金収支予算案
	(5)評議員会の招集事項
	議案第 22 号 令和 3 年度第 2 回評議員会の招集事項
	 理事者(会長·副会長)、事務局による調整会議
理事者会	生事有(云文・副云文)、事務同による調金云議 第1回5月11日(火) 役員(理事・監事)、評議員の改選に伴う候補者 ほか
	カュロ 3 月 11 日 (人) 仅具(任事 血事人 計職具の以迭に計り候補名 ほか

古光ナナル市石学 ※4.5	車業中党及が出の拠画
事業または事項等単位:円	事業内容及び成果の概要
	第2回6月15日(火) 第1回理事会、定時評議員会議案 ほか
	第3回8月30日(月) 第3回理事会議案 ほか
	第4回10月8日(金) 法人認可50周年記念表彰式典、市内社会福祉法人連
	絡会総会ほか
	第 5 回 11 月 11 日(木) 法人認可 50 周年記念並びに令和 3 年度表彰式事前
	確認はか
	第6回2月7日(月) 定員管理計画修正案 ほか
	第7回2月22日(火) 第4回理事会議案 ほか
 評議員会	評議員定数:23名(任期4年) ※7月12日 第1回(定時)評議員会後改選
H 1 H3// 1-2	第 1 回(定時) 7 月 12 日(月) 総数 23 名:出席 21 人/理事 1 人·監事 2 人
	○報告事項
	(1)会長の職務執行状況報告(令和3年2月19日~6月15日)
	(2)令和2年度監査報告
	(3)令和3年度第1回理事会報告
	(4)新型コロナウイルス感染症に関する対応
	○議 案
	(1)人事案件
	議案第1号 役員の選任
	(2)令和2年度事業報告及び決算
	議案第2号 令和2年度事業報告
	議案第3号 令和2年度計算関係書類及び財産目録
	(3)令和3年度資金収支補正予算
	議案第4号 令和3年度社会福祉事業区分地域福祉推進拠点区分資金収支
	補正予算(第1号)
	第 2 回 3 月 29 日(火) 評議員総数 23 名:出席 21 人/理事 1 人·監事 2 人
	○報告事項
	(1)会長の職務執行状況報告(令和3年9月17日~2月22日)
	(2)部会·委員会報告(組織財政部会、補助金検討委員会)
	(3)第1回理事会報告
	○議案
	(1)令和2年度資金収支補正予算
	議案第5号 令和3年度社会福祉事業区分地域福祉推進拠点区分資金収支
	補正予算案(第2次)
	議案第 6 号 令和 3 年度社会福祉事業区分歳末たすけあい運動拠点区分資
	金収支補正予算案(第2次)
	議案第7号 令和3年度公益事業区分その他の公益事業拠点区分資金収支
	補正予算案(第2次)
	(2)令和4年度事業計画及び資金収支予算
	議案第8号 令和4年度事業計画案
	議案第9号 令和4年度社会福祉事業区分資金収支予算案

事業または事項等 単位:円	事業内容及び成果の概要
	議案第10号 令和4年度公益事業区分資金収支予算案
	議案第11号 令和4年度収益事業区分資金収支予算案
評議員選任·解任委員会	評議員選任・解任委員会委員定数:5人 ※7月12日 第1回(定時)評議員会後改選 任期:令和7年定時評議員会終結の時まで
	第1回 7月12日(月) 委員総数5人:出席者5人
	○議 題
	(1)委員長の互選
	(2)評議員の選任 評議員 23 人の選任
監査	○監事による監査 監事による令和 2 年度理事の職務執行監査(決算) 6 月 7 日(月) 監査人:濟木新一監事、鈴木久佐子監事
	○生活福祉資金指導検査
	生活福祉資金運営要領第10に基づく指導検査 10月26日(火) 監査人:東京都及び東京都社会福祉協議会
	結果:文書により指摘する事項は認められませんでした。
組織財政部会	本会経営の改善を図るため、組織および財政基盤の強化はもとより、これからの
TETOVIA VALID	新たな福祉課題を見据えた本会の方向性について協議・検討し、より着実な地域
	福祉活動の推進を目指すことを目的に設置。
	▶構成 理事会で選任された理事7名
	▶協議·検討事項
	・社協法人認可50周年記念関連事業について
	・社協塾事業の方向性について
	・定員管理計画の修正について
	第1回 12月16日(木) 部会員6人
	第2回 2月17日(木) 部会員6人
	・部会員からの意見を基に報告書のとりまとめ
	会長報告 3月4日(金) 部会長より令和3年度第4回理事会にて報告
令和3年度並びに50周	本会が社会福祉法人認可 50 周年を迎えるにあたり、会員および各種関係機関・
年記念表彰式	協力団体等への感謝をあらわすとともに、本会表彰規程及び表彰状等の贈呈基
422,724	準に基づき、市内の社会福祉の向上に功労のあった団体または個人に対し、その
【前年度 276,774】	功績をたたえ表彰することを目的とする。
	○法人認可 50 周年記念表彰及び表彰状贈呈対象者 95 件(40 人·55 団体)
	▶基準イ 100 万円以上の金品の個人寄付者及び寄付団体…該当なし
	▶記念 及び平成 23 年度より継続して通算 20 万円以上の金品の個人寄付者 …12 人
	►記念 並びに平成 23 年度より継続して通算 50 万円以上の金品の寄付団体
	・・・・21 団体

▶基準ロ 本会が行う事業・在宅福祉サービス事業(ふれあいサービス)の協力会

員およびなんでも相談のボランティアとして 10 年以上在宅福祉サービ

事業または事項等 単位:円	事業内容及び成果の概要
1.200, 210, 1.00, 1.00	ス等の向上に貢献した者…5人
	▶記念ハ 本会ボランティアセンターにボランティア団体、個人ボランティアとして登
	録し、平成 23 年より継続して活動されその功績が顕著な個人・団体…
	32 件(9 人·23 団体)
	▶記念ニ ミニデイホーム・サロン活動を 10 年以上継続して実施し、功績が顕著な
	団体…8 団体
	▶記念ホ 本会事業に継続して協力し功績が顕著な個人及び団体…9 件(6 人・3
	団体)
	▶基準へ 本会の理事、監事、評議員として通算 10 年以上在任し功績が顕著な者
	…2 人
	▶基準ト 本会事務局職員で通算 20 年勤続し功績の顕著な者…2 人
	▶基準チ 上記のほか表彰状を贈呈することが適当と認められる者…4人
	○感謝状贈呈対象者 25 件(15 人、10 団体)
	▶基準イ 1回の寄付金額が2万円以上、または1年を通じて10万円以上の金品の
	個人寄付者…5人
	▶基準ロ 1回の寄付金額が5万円以上、または1年を通じて 20 万円以上の金品
	の寄付団体…10 団体
	▶基準ハ 本会が行う事業・在宅福祉サービス事業の協力会員として5年以上在
	宅福祉サービス等の向上に貢献した者…3人
	▶基準二 上記のほか感謝状を贈呈することが適当と認められる者…7 人
	○特別表彰
法人認可 50 周年記念 事業	※令和3年度並びに50周年記念表彰式に掲載
	○ひがしくるめ社協だより 50 周年記念特集号
030,000	社協だより 214 号(令和 3 年 9 月 1 日発行)に増ページ(2 🖫 1 枚)。会長挨拶
	(感謝の言葉)及び50年の歩みを掲載。
	広報費(印刷) 363,000円
	○社協だよりの電子データ化
	これまで発行した「社協だより」(~213 号)を電子データ化し、DVDを作成(100
	枚)。近隣社協ほか関係団体等へ配布。
	DVD作成委託費 225,500円
	○記念物品
	法人認可 50 周年記念のロゴをデザインし、プリントしたクリアファイルを作成。
	表彰状・感謝状贈呈者や関係者・団体に配布し50周年を PR。
	クリアファイル(1,000 枚)作成費 70,000 円
	○人事·職員体制(3 月 31 日現在)
事務局運営	事務局長1人、事務局次長1人、正規8人、常勤嘱託2人、臨時職員14人
	4月30日付1人退職 臨時職員(中央町地区センター管理運営)
	5月1日付 1人採用 臨時職員(中央町地区センター管理運営)
	3月31日付1人期間満了 事務局長

事業または事項等 単位:円	事業内容及び成果の概要
	1 人退職 正規職員(地域福祉担当)
	○職員研修
	▶内部研修
	日ごろ寄せられる相談の内容に外国人に関する基礎知識を必要とする機会が増
	えたことから、社協職員として必要な知識を得るとともに、必要な外国人対応の基
	礎知識を学び、今後の相談支援、小地域福祉活動に活かすために実施。
	・テーマ「外国人対応の基礎知識を学ぼう」
	講師 NPO法人CINGA 関 聡介弁護士ほか9人
	受講料 30,000円
	日時と参加方法 以下のうち、6講座以上選択し、全職員が参加。
	講座内容 ①なぜ外国人住民が増えているのですか ②在留資格ってなんで
	すか ③外国人も使える制度はありますか ④コロナ禍でなにが起きている
	のですか ⑤コロナ禍でのこころの問題って何ですか ⑥どのような母子支
	援の事例や地域内での連携がありますか ⑦日本語ができない理由は何で
	すか ⑧やさしい日本語って難しいですか ⑨通訳はどうやって使ったらいい
	ですか ⑩外国人からの相談はどうしたらいいですか
	(1)ライブ参加 ※いずれも時間は午後3時~4時
	6月23日(水)、6月30日(水)、7月8日(木)、7月14日(水)、7月28日(水)、
	8月5日(木)、8月26日(木)、9月1日(水)、9月8日(水)、9月16日(木)
	(2)動画参加
	6月24日(木)~12月20日(月)の期間中に動画(You Tube)を視聴
	▶北北ブロック社協職員連絡会研修会
	「誰でも描けるグラフィックレコーディング」講座 参加2人
	日時と参加方法 3月10日(木)午後3時~5時 オンライン
	○新型コロナウイルス感染症に関する対応(事務局体制)
	▶正規・嘱託・臨時職員とも、通常勤務とする。
	▶緊急事態宣言再発令期間(4月25日~5月11日)
	・事業・イベントの対応方針
	総務(組織運営・貸付含む)と相談支援は事業継続リモートでできるものは実施
	し、それ以外は延期・中止。ふれあいサービス(有償家事援助)は、発令期間中の
	利用・活動は中止。ボランティア交流室は、発令期間中一般利用を休止とする。
	ファミリー・サポート・センター事業は、発令期間中の利用・活動は自粛。成年後見
	制度推進事業は、緊急案件のみ対応。地区センターは、市の方針により発令期間
	中は全館利用休止。※4月24日開催の市新型コロナウイルス感染症対策本部会

制度推進事業は、緊急案件のみ対応。地区センターは、市の方針により発令期間中は全館利用休止。※4月24日開催の市新型コロナウイルス感染症対策本部会議による。周知・広報は、ホームページ及びSNSを使用するほか、必要に応じて個別に説明する。

▶新型コロナウイルスワクチン接種に係る取扱いについて(6月25日に事務局長通知)新型コロナウイルスワクチン接種及び接種に伴う副反応が生じた場合の取扱いに

ついて、東久留米市の例規等の準用に関する規程により東久留米市の取扱いを

準用し、職種、区分に応じて職務免除や減額免除となる旨を通知。

事業または事項等 単位:円	事業内容及び成果の概要
	▶新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた対応について(8月3日に事務局長通知)
	職場内での感染防止行動の徹底、通勤・外勤に関する感染防止行動の徹底につ
	いて注意喚起。
	○職員健康診断・予防接種への助成
	35歳以上の正規職員、嘱託職員を対象に、協会けんぽの生活習慣病予防健診を
	活用して年に1回の健康診断を実施。35歳以下については、若年者向けの健康診
	断を実施し、かかる費用の自己負担分を事業主が負担。オプション検査につい
	て、1人当たり10,000円を限度に助成。インフルエンザ等予防接種について、1人
	当たり4,500円を限度に助成。
	▶健診受診者 35歳以上11人、35歳未満 2人
	·事業主負担額:103,584 円
	・オプション助成金:60,584 円(8 人)
	▶インフルエンザ予防接種者 4人
	・助成額:16,000円
東京都内社会福祉協議	都内の社会福祉協議会職員の資質の向上、及び職員相互の連携を図り、もって
会職員連絡会	社協活動の進展に資することを目的とする。
	・任期2年/北多摩北部ブロック社協幹事・東久留米市
	・運営委員1名派遣 地域福祉担当 児玉大地主事
	・所属部会等 都内社協職員連絡会副会長、地域福祉フォーラム部会
	第1回 6月30日(水)午後3時~5時 オンライン 出席
	第2回 11月2日(火)文書審議
	第3回 3月7日(月)午後3時~5時 オンライン 出席
	○幹事会
	第1回 5月28日(金)午後3時~5時 オンライン 出席
	第2回 10月5日(火)午前10時~正午 オンライン 出席
	第3回 12月16日(木)午後3時~5時 オンライン 出席
	第4回 2月3日(木)午後3時~4時半 オンライン 出席
	○活動の報告および意見交換会
	1月21日(金)午前9時40分~10時半 オンライン 出席
	○関東ブロック社協職員の会連絡会理事会
	2月10日(木)午前10時半~正午 オンライン 出席
	│ │○北多摩北部ブロック社会福祉協議会 避難者支援情報共有連絡会
東日本大震災への対応	近地多学礼品プログラ社会価値協議会 近端省文版情報共行延結会 避難者支援に係る情報交換及び課題の共有(書面開催)
	11月18日(木):避難者支援の現況・課題、各団体が取り組む行事等の情報
	TANGE OF THE PARTY OF THE PROPERTY OF THE PROP

事業または事項等 単位:円	事業内容及び成果の概要
その他	苦情対応·個人情報対応 ·第三者委員 3 人(任期 令和2年 10 月 12 日~令和4年 10 月 10 日)
苦情対応·個人情報保護	木村 温真氏、田原 悟子氏、萩原 雅幸氏 ・苦情対応 0件(前年度0件)
情報公開	開示申出 0件(前年度 0件) 一部開示 0件(前年度 0件)
後援等名義使用承認	他機関・団体からの申請にもとづき、名義使用承認基準に従い本会または会長名の後援・共催・協賛・推薦等の名義使用を承認する。 ・後援等名義使用承認件数 20件(共催3件、協力4件、後援13件) (前年度15件/内訳・共催0件、協力2件、後援13件)
社協イメージアップ戦略	公式マスコットキャラクターを活用した、本会の周知・PR 等イメージアップを積極的にアナウンスしていく。 ○各種イベント等への出演・参加 例年参加していた下記の催し物への参加は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した ・民生委員・児童委員活動普及・啓発イベント ・東京都民生児童委員連合会パレード ・東久留米市民まつり ※踊り 絆づくり ○着ぐるみ貸し出し 「くるみちゃん」着ぐるみを地域のイベントへ貸し出し、地域住民へ本会の周知・PR 等イメージアップを目指す。 0件(前年度1件/▲1件)
職員による防災備品動作等確認	平常時からの意識確認と非常時に備えた訓練として、職員が2人1組で、職員行動マニュアルの内容確認と防災備品の動作確認等を行う。 実施日 毎月10日(原則)

7 地域生活支援サービスの充実

(1)判断能力が低下した人の支援事業

地域福祉権利擁護事業[P36]

○相談・訪問状況(延べ件数) 6,549件(前年度 6,102件)

※()の数字は専門員等職員の訪問件数

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	計
4月	343 (51)	29 (8)	127 (16)	16 (3)	515 (78)
5月	363 (60)	14 (4)	93 (13)	10 (0)	480 (77)
6月	485 (97)	13 (6)	221 (15)	13 (1)	732 (119)
7月	396 (64)	23 (10)	151 (13)	28 (5)	598 (92)
8月	371 (70)	10 (4)	127 (14)	13 (2)	521 (90)
9月	350 (57)	20 (11)	174 (18)	31 (3)	575 (89)
10月	379 (65)	8 (5)	123 (17)	19 (3)	529 (90)
11月	346 (69)	27 (8)	190 (15)	6 (1)	569 (93)
12月	264 (63)	33 (12)	144 (25)	18 (1)	459 (101)
1月	345 (61)	26 (9)	136 (2)	2 (0)	509 (85)
2月	315 (57)	43 (9)	145 (15)	2 (1)	505 (82)
3月	385 (66)	46 (8)	124 (14)	2 (1)	557 (89)
合計	4,342 (780)	292 (94)	1,755 (190)	160 (21)	6,549 (1,085)
※前年度	4,169 (735)	416 (130)	1,472 (201)	45 (10)	6,102 (1,076)
増減	173 (45)	▲ 124(▲36)	283 (▲11)	115 (11)	447 (9)

(2)子ども・障がい者・高齢者を対象とした事業の充実

ファミリー・サポート・センター事業[P38]

①事業説明会の開催 (単位:人)

回数	日程	ファミリー会員	サポート会員	うち両方会員	合計	託児
1	4月14日(水)	_	-	-	中止	-
2	4月27日(火)	_	_	_	中止	-
3	5月13日(木)	_	_	-	中止	_
4	5月29日(土)	-	_	-	中止	_
5	6月4日(金)	-	-	-	中止	=
6	6月9日(水)	-	-	-	中止	-
7	7月5日(月)	4	0	0	4	0
8	7月16日(金)	-	-	-	中止	-
9	8月20日(金)	ı	ı	-	中止	ı
10	9月2日(木)	ı	1	-	中止	ı
11	9月10日(金)	ı	1	-	中止	ı
12	9月28日(火)	1	1	1	中止	1
13	10月5日(火)	6	1	0	7	0
14	10月16日(土)	4	2	0	6	0
15	10月25日(月)	4	3	0	7	0
16	11月1日(月)	4	2	0	6	0
17	11月30日(火)	4	0	0	4	0
18	12月6日(月)	2	0	0	2	0
19	12月18日(土)	6	0	0	6	0
20	1月12日(水)	2	0	0	2	0
21	1月27日(木)	ı	Ī	1	中止	1
22	2月12日(土)	ı	Ī	1	中止	1
23	2月25日(金)	6	-	_	6	0
24	3月9日(水)	3	1	0	4	0
個別説明	来館	19	10	0	29	
间凹力均配的	電話	66	2	0	68	
合計	108 回	130	21	0	151	0
前年度	30 回	80	12	0	92	0

[※]新型コロナウイルス感染拡大防止のため事前予約制にて短時間で実施。託児を中止した。 また、4月14日(水)~6月9日(水)および7月16日(金)~9月28日(火)、1月27日(木)、 2月12日(土)は中止し、個別説明を行った。

②会員に対する講習会等の開催

	内容	時間	講師
1	保育サービスを提供するために I	1.5	アドバイザー・サブリーダー
2	子育てネットワーク(保育の心)	3	臨床心理士 永田陽子 先生
3	心と身体の発達	3	子どもと家族のメンタルクリニックやまねこ 田中 哲 先生
4	小児看護の基礎知識	2	さいわい町診療所 矢澤 智子 先生
⑤	安全·事故	2	市内保育園 園長先生
6	普通救急救命講習	3	東京防災救急協会救急救命士
7	子どもの世話	2	東京都助産師会東久留米清瀬西東京地区分会
8	子どもの遊び	2	子育てサロンぽかぽかひろば主宰·保育士 原 悠子 氏
9	子どもの栄養と食生活	3	東久留米市地域活動栄養士会 管理栄養士 井上 幸子 氏、杉山 悦子 氏
10	保育サービスを提供するためにⅡ	2.5	アドバイザー・サブリーダー

《講習会 6月》

月日	時 間	No.	会 場	参加人数
C H 17 D (+)	午前 10 時~正午	4	わくわく健康プラザ2F	11人
6月17日(木)	午後1時30分~3時	1	集会室1(滝山 4-13-14)	11人
6月21日(月)	午前9時~正午	6	東京消防庁東久留米消防署(幸町 3-4-34)	8人
6 H 22 H (-k)	午前 10 時~正午	8		12人
6月23日(水)	午後1時30分~4時30分	3	わくわく健康プラザ2F	10人
C 日 25 日(A)	午前 10 時~正午	(5)	集会室1(滝山 4-13-14)	9人
6月25日(金)	午後1時30分~3時30分	7		9人
6月28日(月)	午前9時~正午	2		10人
6月30日(水)	午前9時~正午	6	東京消防庁東久留米消防署 (幸町 3-4-34)	8人
7日 2日(会)	午前9時~正午	9	わくわく健康プラザ2F	11人
7月2日(金)	午後1時30分~4時	10	集会室1(滝山 4-13-14)	10人
7月12日(月)	午前9時~正午	6	東京消防庁東久留米消防署	6人
7月13日(火)	午前9時~正午	6	(幸町 3-4-34)	5人
7月16日(金) ~7月27日(火)	個別に調整	補講	わくわく健康プラザ2F 社協会議室、ボランティア交流 室(滝山 4-13-14)	8人

《講習会 11月》

月日	時 間	No.	会 場	参加人数
11 日 0 日(水)	午前 10 時~11 時 30 分	1	明治薬科大学東久留米	5人
11月9日(火)	午後1時~4時	2	サテライトキャンパス	5人
11 日 11 日(土)	午前 10 時~正午	8	(東久留米市本町1丁目	9人
11月11日(木)	午後1時30分~3時30分	7	3-6 Glanz Bldg3 階)	8人
11月16日(火)	午前9時~正午	6	東京消防庁東久留米消防署 (幸町 3-4-34)	10人
11月18日(木)	午前 10 時~正午	4		7人
11 日 24 □ (→k)	午前9時30分~12時30分	3	明治薬科大学東久留米	10人
11月24日(水)	午後2時~4時	(5)	サテライトキャンパス	5人
11月26日(金)	午前9時30分~12時30分	9	(東久留米市本町1丁目	6人
11月20日(並)	午後1時30分~4時	10	3-6 Glanz Bldg3 階)	8人
11月29日(月)	午前9時~正午	6	東京消防庁東久留米消防署 (幸町 3-4-34)	7人
12月9日(木)~12月23日(木)	個別に調整	補講	わくわく健康プラザ2F 社協会議室、ボランティア交 流室(滝山 4-13-14)	20人

③活動実績

活 動 内 容	回数	前年度	増減
保育施設の保育開始前の送迎(送り)	39	9	30
保育施設の保育開始前の預かり	0	0	0
保育施設の保育開始前の送迎及び預かり	189	182	7
保育施設の保育終了後の送迎(迎え)	132	122	10
保育施設の保育終了後の預かり	19	0	19
保育施設の保育終了後の送迎及び預かり	55	73	▲ 18
学童保育所開始前の送迎(送り)	6	1	5
学童保育所開始前の預かり	0	20	1 20
学童保育所開始前の送迎及び預かり	2	3	▲ 1
学童保育所終了後の送迎(迎え)	6	16	▲ 10
学童保育所終了後の預かり	1	4	A 3
学童保育所終了後の送迎及び預かり	47	238	▲ 191
学校の登校前の送迎(送り)	1	3	▲ 2
学校の登校前の預かり	4	212	▲ 208
学校の登校前の送迎及び預かり	2	26	▲ 24
学校の放課後の送迎(迎え)	1	0	1
学校の放課後の預かり	12	1	11
学校の放課後の送迎及び預かり	0	4	A 4

活 動 内 容	回数	前年度	増減
保護者の外出の際の子どもの送迎	0	0	0
保護者の外出の際の子どもの預かり	55	78	▲ 23
保護者の外出の際の子どもの送迎及び預かり	0	1	1
保護者の就労(短期・臨時・求職活動等)の場合の送迎	0	0	0
保護者の就労(短期・臨時・求職活動等)の場合の預かり	38	20	18
保護者の就労(短期・臨時・求職活動等)の場合の送迎及び預かり	0	0	0
保護者の体調不良等の場合の送迎	0	0	0
保護者の体調不良等の場合の預かり	0	2	A 2
保護者の体調不良等の場合の送迎及び預かり	0	0	0
障がいを持つ子どもの送迎	0	16	1 6
障がいを持つ子どもの預かり	43	3	40
障がいを持つ子どもの送迎及び預かり	31	0	31
学校、幼稚園、保育所の休みの時の送迎	0	0	0
学校、幼稚園、保育所の休みの時の預かり	0	4	A 4
学校、幼稚園、保育所の休みの時の送迎及び預かり	0	0	0
学習塾や習い事等への送迎	307	85	222
学習塾や習い事等への送迎及び預かり	2	4	A 2
保護者の産前・産後時の子どもの送迎	119	10	109
保護者の産前・産後時の子どもの預かり	27	7	20
保護者の産前・産後時の子どもの送迎及び預かり	53	0	53
保護者のリフレッシュや習い事時の子どもの送迎	0	0	0
保護者のリフレッシュや習い事時の子どもの預かり	13	2	11
保護者のリフレッシュや習い事時の子どもの送迎及び預かり	0	0	0
保育所等施設入所前の送迎	0	0	0
保育所等施設入所前の預かり	0	0	0
保育所等施設入所前の送迎及び預かり	0	0	0
学校、幼稚園、保育所の休みの時の送迎	0	0	0
学校、幼稚園、保育所の休みの時の預かり	0	0	0
学校、幼稚園、保育所の休みの時の送迎及び預かり	0	0	0
その他(送迎)	4	0	4
その他(預かり)	66	20	46
その他(送迎及び預かり)	0	0	0
合 計	1,274	1,166	108

④面談·調整件数

	面談回数	メールでの調整	FAX での調整	計	
4月	15 回	518 件	19 件	537 件	
5 月	3 回	390 件	96 件	486 件	
6 月	4回	425 件	48件	473 件	
7月	11 回	512 件	45 件	557 件	
8月	9 回	425 件	22 件	447 件	
9月	8回	342 件	28 件	370 件	
10月	14 回	431件	31件	462 件	
11月	6 回	454 件	34 件	488 件	
12月	12 回	498 件	25 件	523 件	
1月	10 回	443 件	32件	475 件	
2月	4 回	430 件	25 件	455 件	
3月	32 回	594 件	47件	641件	
合 計	128 回	5,462件	452 件	5,914 件	
前年度	79 回	3,451件	513 件	3,964 件	

在宅福祉サービス事業(ふれあいサービス)[P41]

①利用者数 263人(前年度 369人) 延べ利用回数 1,025回(前年度1,379回)

	利用者実数	割合	延利用回数	割合
高齢者	249 人	94.7%	984 回	96%
障がい者	1人	0.4%	1回	0.1%
認知症	0人	0%	0 回	0%
難病	0人	0%	0 回	0%
ひとり親	0人	0%	0 回	0%
産前産後	13 人	4.9%	40回	3.9%
その他	0人	0%	0 回	0%
合 計	263 人	100%	1,025 回	100%

②内容別利用割合 2,555 回(前年 2,512 回)

	延べ提供回数	割合
食事の支度	451 回	17.7%
洗濯	407 回	15.9%
掃除	824 回	32.3%
買い物	455 回	17.8%
話し相手・身の回りの世話	380 回	14.9%
外出·通院	1回	0.03%
産後の家事援助	34 回	1.3%
その他	3 回	0.1%
合 計	2,555 回	100%

③協力会員の活動実人数(前年度 253 人)

	実活動者数	活動回数
主 婦	116人	730 回
有 職 者	59人	177 回
その他	18人	118 回
合 計	193人	1,025 回

④謝金人数及び活動時間数

	謝金人数・時間	
4月	24 人	162 時間
5月	0人	0 時間
6月	20人	68 時間
7月	19 人	53 時間
8月	0人	0 時間
9月	0人	0 時間
10月	23 人	174 時間
11月	22人	201 時間
12月	25 人	193 時間
1月	24 人	179 時間
2月	18人	141 時間
3月	18人	173 時間
合 計	193 人	1,344 時間
前年度	253 人	1847.5 時間
増減	▲60人	▲503.5 時間

(3)赤い羽根共同募金

配分推せん委員会(推せん事務・意見書交付)[P30]

全都配分(A配分) 令和3年度 決定一覧

東久留米地区配分推せん委員会 件数:2件 配分総額:2,000,000円

No.	配分額(円)	施設·団体名	申請内容および事業種別
1	1,000,000	(福)すぎのこ	車両整備事業
		えいぶる	就労継続支援 B型
2	1,000,000	(福)イリアンソス	車両整備事業
		のぞみの家	生活介護

地域配分(B配分)(令和3年度申請·4年度使用分)決定一覧

東久留米地区配分推せん委員会 件数:6件

配分総額:680,000円

No.	配分額(円)	施設·団体名	申請内容および事業種別
1	160,000	(特非)コイノニア	備品整備(エアコン)
		就労支援事業所コイノニア	就労継続支援A型、B型
2	90,000	(福)イリアンソス	備品整備(車椅子用体重計)
		なかまの家	生活介護
3	200,000	(福)イリアンソス	備品購入(テント)
		このみ	放課後等デイサービス
4	140,000	(福)すぎのこ	備品整備(作業用オフィスチェア)
		まあぶる	就労継続支援B型
5	45,000	(福)森の会	宿泊訓練
		プラタナス	自立訓練·生活介護
6	45,000	(福)森の会	宿泊訓練
		広域地域ケアセンター バオバブ	自立訓練·就労継続支援B型

監査報告書

令和4年5月26日

社会福祉法人東久留米市社会福祉協議会

会長 松本誠一 殿

EBB 與任章子 EBB 鈴木久佐子

私たち監事は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの令和3年度の 理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次 の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る 計算関係書類(計算書類及びその附属明細書)及び財産目録について検討しま した。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の 増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上